

白井市構想道路基礎検討書

令和 3 年 5 月

白井市

目次

1 本資料の位置づけ	1
2 道路交通を取り巻く現状	3
2-1 都市構造の現状	3
(1)人口推移	3
(2)拠点施設の分布状況	5
(3)土地利用の状況	7
2-2 道路交通の現状	8
(1)道路網	8
(2)主要道路の交通実態	9
(3)公共交通の運行状況	11
2-3 国道 464 号北千葉道路の動向	12
(1)国道 464 号北千葉道路の概要	12
(2)国道 464 号北千葉道路の整備状況及び今後の動向	13
3 市民アンケート調査	14
3-1 調査の概要	14
(1)調査の目的	14
(2)調査項目	14
(3)調査設計と回収状況	14
3-2 主な調査結果	15
(1)日常生活における主な交通手段	15
(2)道路の混雑状況	15
(3)住んでいる地域の道路の安全状況	16
(4)道路利用に対する満足状況	17
(5)構想道路の必要性	17

4 道路交通に関する課題	20
4-1 全市的な課題	20
(1)広域道路ネットワーク	20
(2)高齢化の進展	20
4-2 構想道路沿線地域の課題	20
(1)交通空白地域	20
(2)移動の利便性	20
(3)移動の安全性	21
(4)緊急時の迅速な対応	21
5 構想道路の整備効果	22
5-1 直接的効果…道路ネットワークの強化	22
(1)公共交通の充実	22
(2)移動の利便性の向上と円滑化	22
(3)移動の安全性の向上	22
(4)都市防災機能の向上	22
5-2 副次的効果…産業の活性化	23
6 今後の主な検討事項	24
(1)必要な道路機能の確保	24
(2)道路の耐災害性の確保	24
(3)市民等とのコミュニケーション	24
参考資料	26

1 本資料の位置づけ

市は、第5次総合計画（平成28年度～令和7年度）の将来都市構造図において、広域的な拠点や各地域の拠点など様々な拠点を結びつける軸の整備を進めることとしている。これに基づき、都市マスタープラン（平成28年度～令和17年度）の道路ネットワーク方針図では、国道16号と国道464号を結ぶ道路ネットワークとして構想道路「（仮）木十余一線」を位置付け、計画化を検討していくこととしている。

構想道路の計画化に関する検討を進めるため、平成28年度の都市計画基礎調査において、環境への配慮、土地利用・地域経済、コストや事業性などに留意した上で、構想道路のルートとして検討可能な3ルート（2ページ参照）を選定した。

本資料は、上記の調査に加えて、市の人口や道路交通等の現状を整理するとともに、市民の道路に対する満足度や要望等を把握することにより、今後の構想道路の計画化に向けた検討の基礎資料とするものである。

なお、本資料では、構想道路のルートとして道路ネットワーク方針図に示すルートと最も相似しているBルートを記載している。

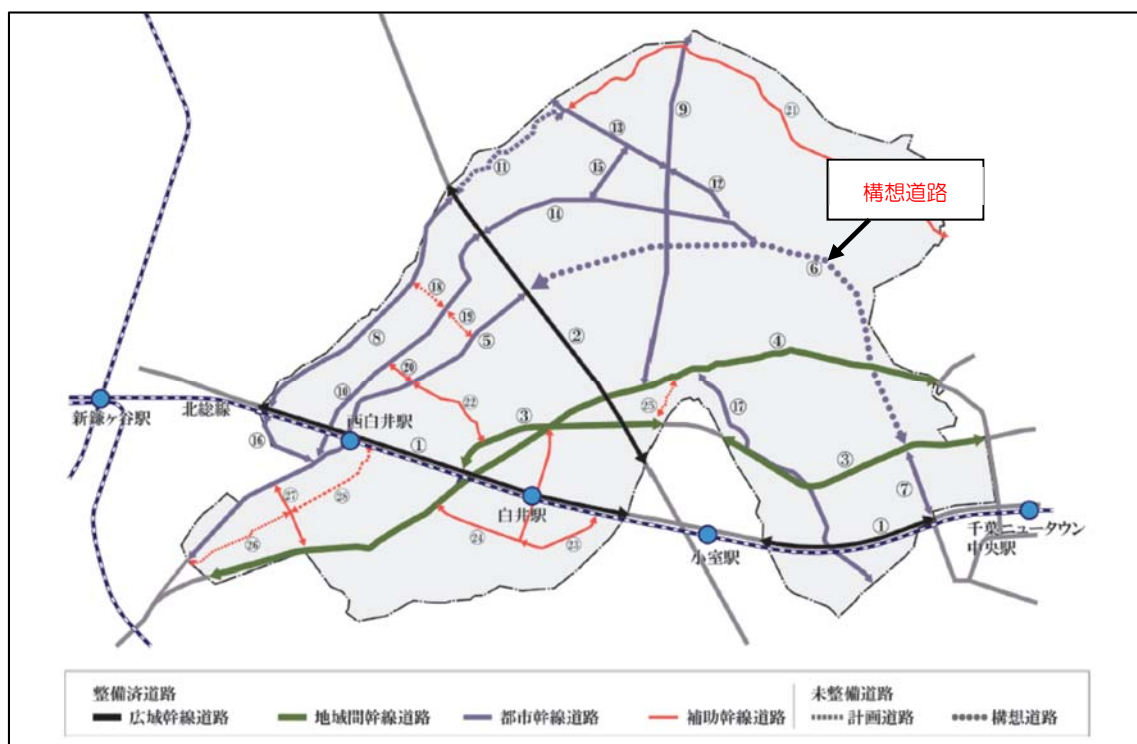


図1 道路ネットワーク方針図

表 1 検討中の構想道路の 3 ルート

	A ルート	B ルート
道路延長	約 6,300m	約 5,940m
現況道路幅員	8m(最大箇所)	6m(最大箇所)
交差する道路	河原子街道、県道 59 号市川印西線	河原子街道、県道 59 号市川印西線
経由地区	西側から主に折立、中、河原子、十余一を経由	西側から主に折立、河原子、十余一を経由

	C ルート
道路延長	約 5,800m
現況道路幅員	現況道路無し
交差する道路	河原子街道、県道 59 号市川印西線
経由地区	河原子街道以東は主に神々廻を経由

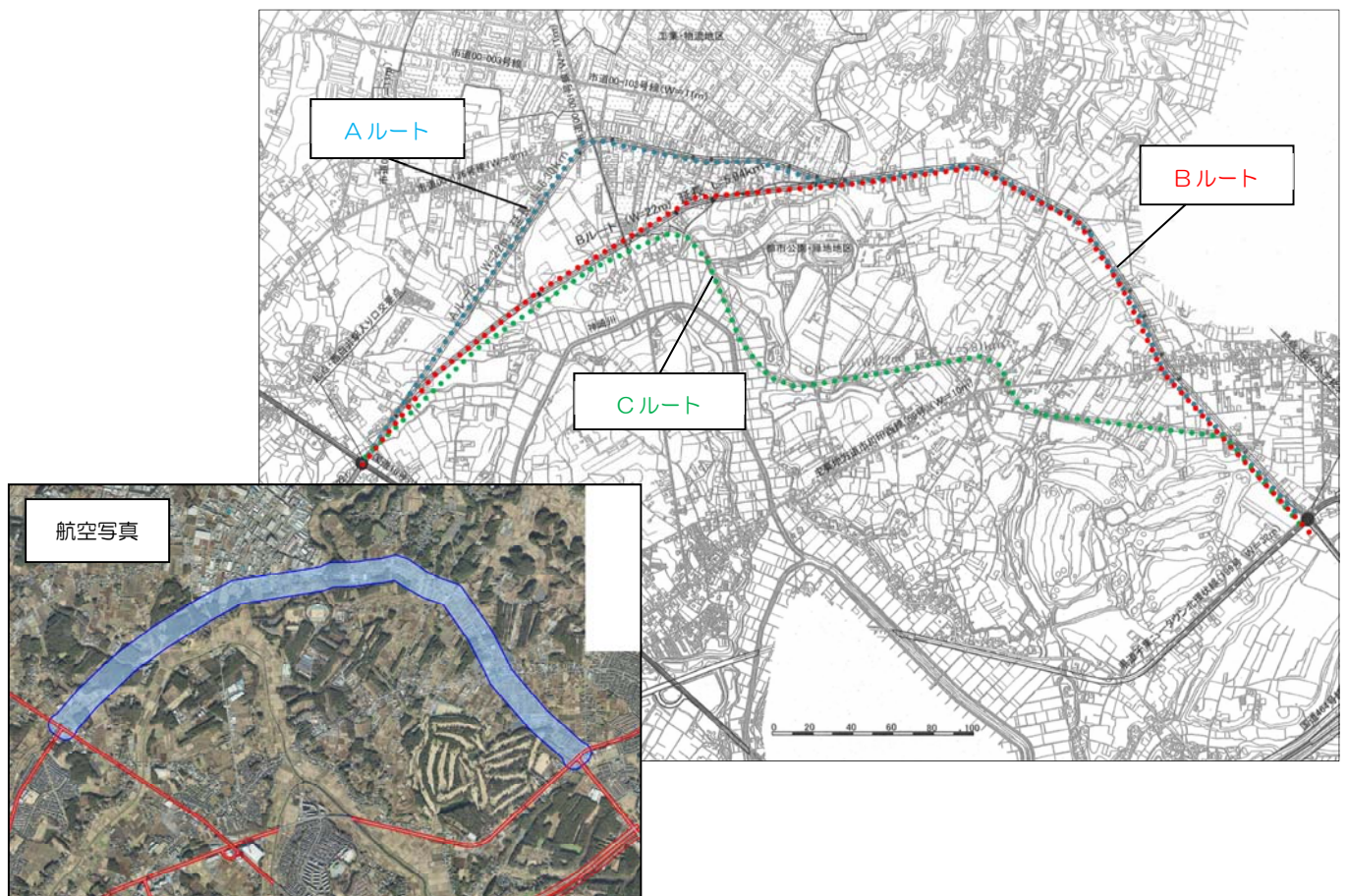


図 2 検討中の構想道路の 3 ルート

2 道路交通を取り巻く現状

2-1 都市構造の現状

(1) 人口推移

ア 市全体

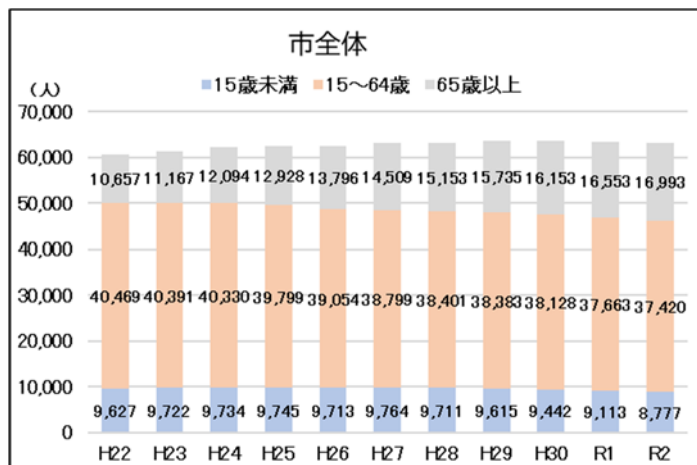
過去の人口推移をみると、平成 29 年までは緩やかな増加傾向にあったが、その後は緩やかな減少傾向となっている。

年齢 3 区分別にみると、高齢者人口（65 歳以上）は増加し続ける一方で、生産年齢人口（15～64 歳）は減少し続けており、緩やかに高齢化が進展している状況にある。

令和 2 年の高齢化率は 26.9%であるが、今後本格的に高齢化が進展し、令和 17 年には高齢化率が 30%を超えることが見込まれている。

表 2 市全体の人口推移

市全体	年齢3区分別人口			合計
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	
H22	9,627	40,469	10,657	60,753
H23	9,722	40,391	11,167	61,280
H24	9,734	40,330	12,094	62,158
H25	9,745	39,799	12,928	62,472
H26	9,713	39,054	13,796	62,563
H27	9,764	38,799	14,509	63,072
H28	9,711	38,401	15,153	63,265
H29	9,615	38,383	15,735	63,733
H30	9,442	38,128	16,153	63,723
R1	9,113	37,663	16,553	63,329
R2	8,777	37,420	16,993	63,190



出典: 白井市住民基本台帳(各年9月末現在)

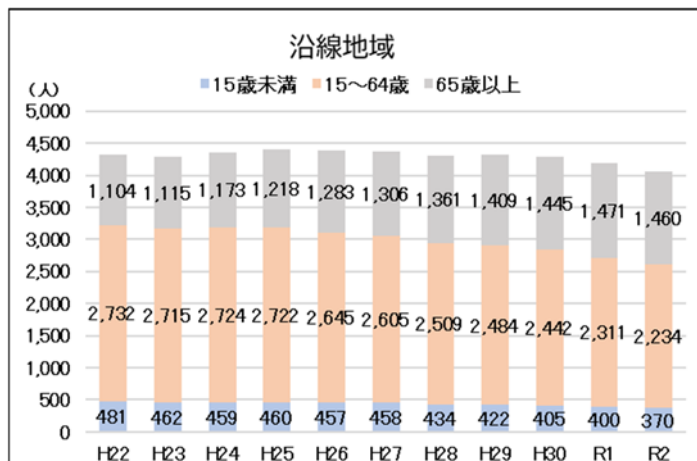
イ 構想道路沿線地域

過去の人口推移をみると、おおむね横ばいで推移していたが、近年は減少傾向となっている。

年齢 3 区分別にみると、市全体と同様の傾向を示しているが、令和 2 年の高齢化率は 35.9%と、市全体の高齢化率と比べて高水準にあり、すでに高齢化が本格化した地域となっている。

表 3 構想道路沿線地域の人口推移

沿線地域	年齢3区分別人口			合計
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	
H22	481	2,732	1,104	4,317
H23	462	2,715	1,115	4,292
H24	459	2,724	1,173	4,356
H25	460	2,722	1,218	4,400
H26	457	2,645	1,283	4,385
H27	458	2,605	1,306	4,369
H28	434	2,509	1,361	4,304
H29	422	2,484	1,409	4,315
H30	405	2,442	1,445	4,292
R1	400	2,311	1,471	4,182
R2	370	2,234	1,460	4,064



出典: 白井市住民基本台帳(各年9月末現在)

▼本報告書における「構想道路沿線地域」の定義

構想道路沿線地域とは、構想道路（紫色の破線）の沿線の町丁字の区域とする。

（沿線の町丁字：折立、木、中、河原子、平塚、神々廻、十余一、清戸）

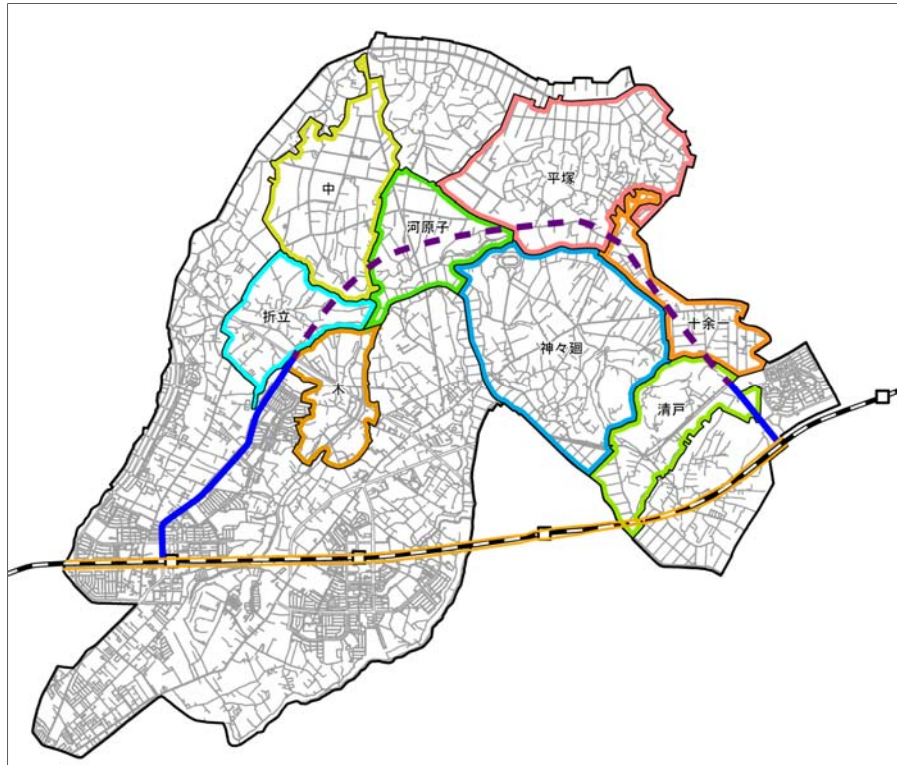


図 3 構想道路沿線地域

(2) 拠点施設の分布状況

拠点施設は、市街地が広がる市南部に集積している状況にある。小中学校と高等学校、一部のセンターは災害時の指定避難所にも指定されている。

ア 公共施設等

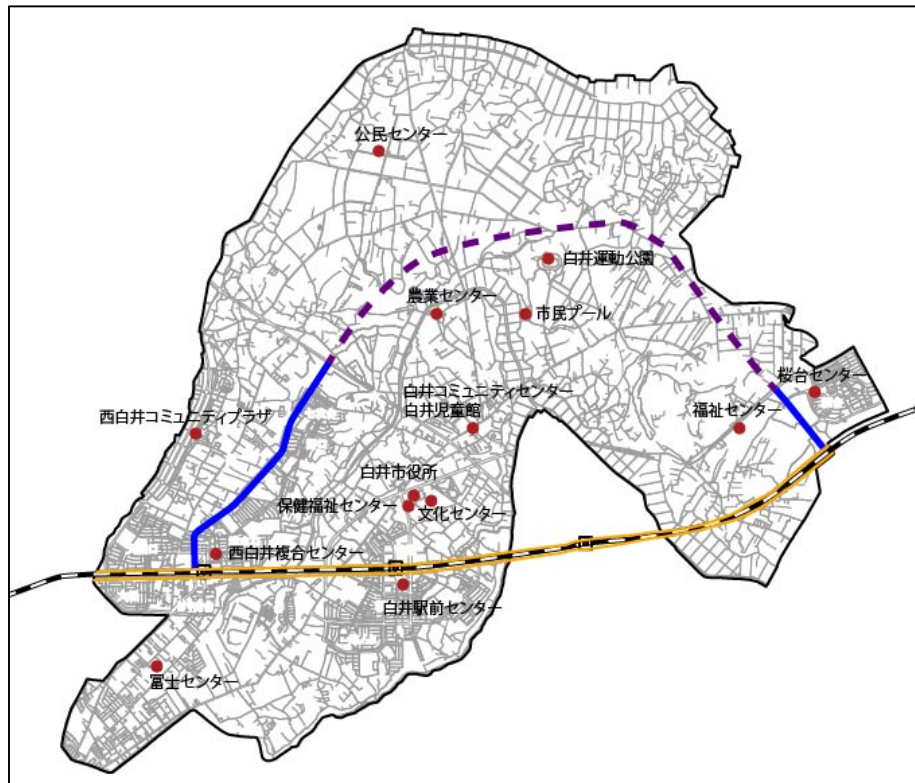


図4 公共施設等分布

イ 警察署・消防署・郵便局

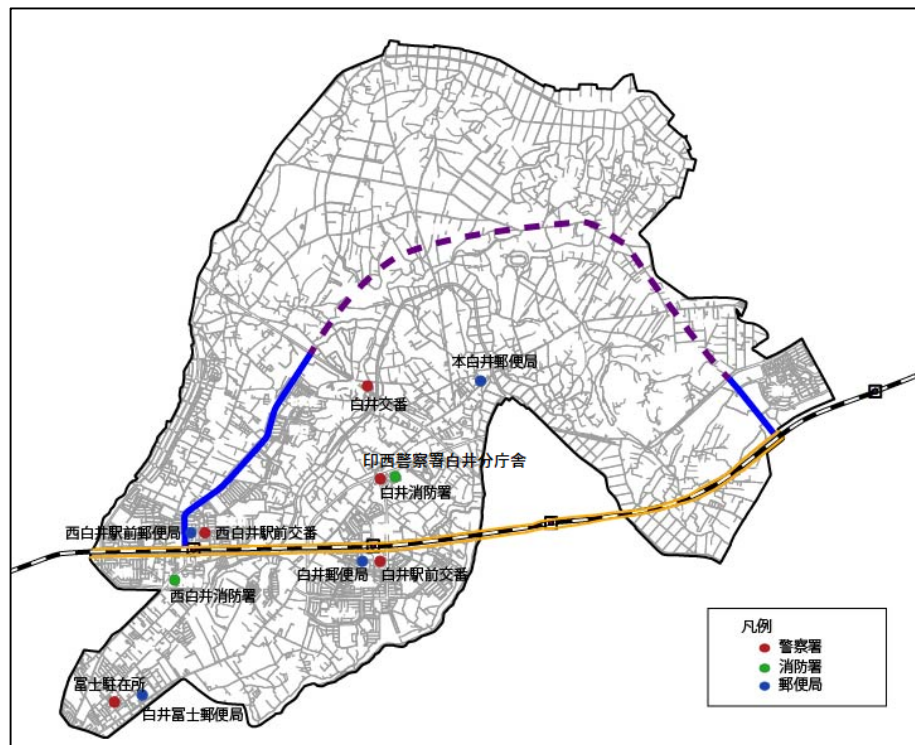
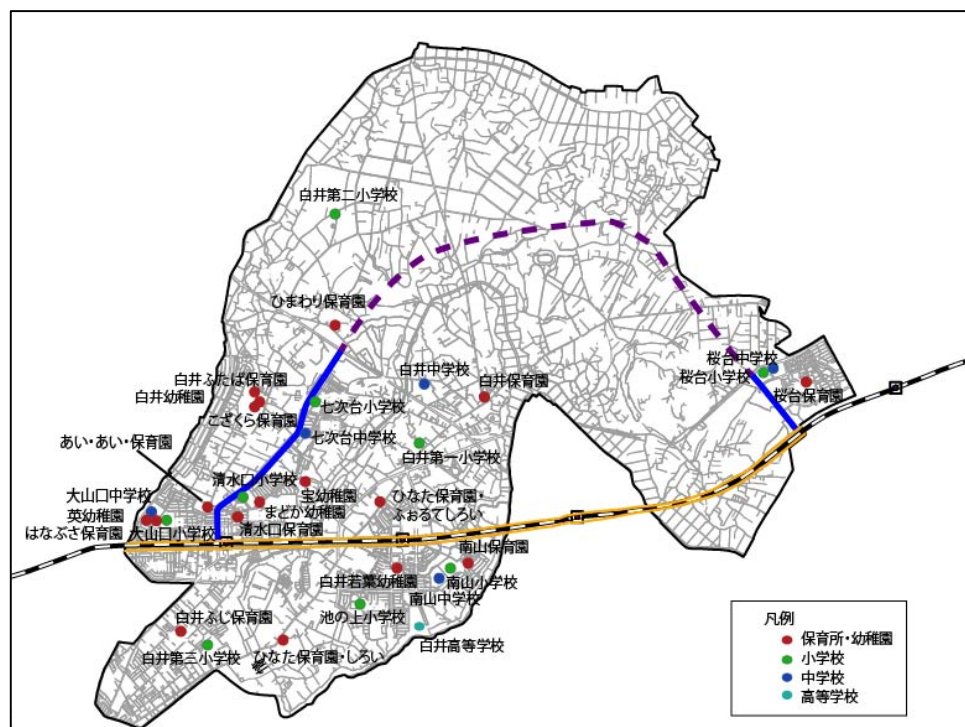
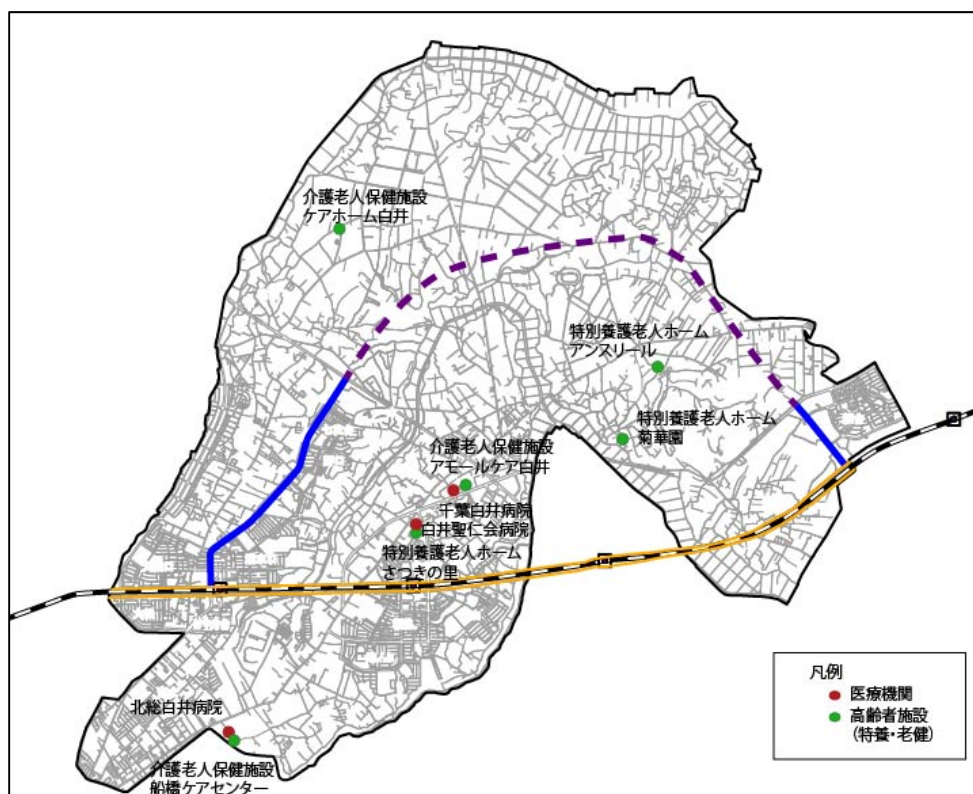


図5 警察署・消防署・郵便局分布

ウ 保育所・教育施設



エ 医療機関・高齢者施設



(3) 土地利用の状況

市南部の鉄道駅を中心に近隣商業地域が、その周辺に第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域などが位置し、千葉ニュータウン事業により整備されたニュータウン区域をはじめとする人口が集中した市街地が広がっている。

市北部には、工業専用地域及び工業地域が位置し、県内最大規模の内陸工業団地である「白井工業団地」が立地しているほか、市南部と比較して起伏に富んだ地形で、緑地や田畑が広がるとともに、丘陵の谷部や街道に沿って集落が点在している。

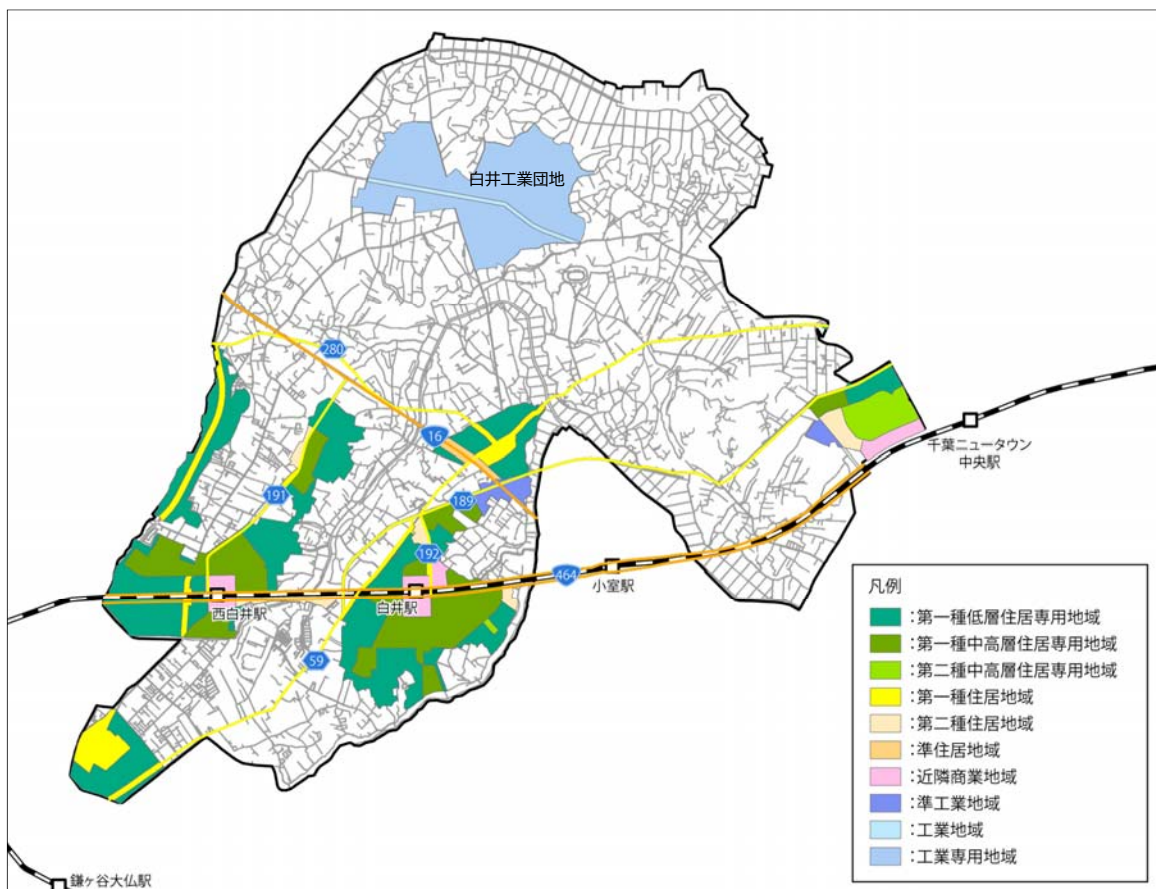


図8 土地利用状況

2-2 道路交通の現状

(1) 道路網

広域的な骨格軸として、南関東の環状幹線である国道 16 号が南北を縦断し、成田空港と都心を結ぶ国道 464 号北千葉道路が東西を横断している。

これらを補完する県道として、千葉県葛南地域と北総地域を結ぶ県道 59 号市川印西線と、市中心部と千葉ニュータウン地域の駅周辺を結ぶ県道 189 号千葉ニュータウン北環状線が走っている。

県道 189 号千葉ニュータウン北環状線は、国道 464 号北千葉道路のう回路として、さらに、千葉ニュータウン地区住民の生活道路としての役割が期待されているものの、一部区間が未開通となっている。

さらに、国道や県道を補完する市道として、基幹的な幹線道路やこれを補完する補助幹線道路などが縦横に走っている。

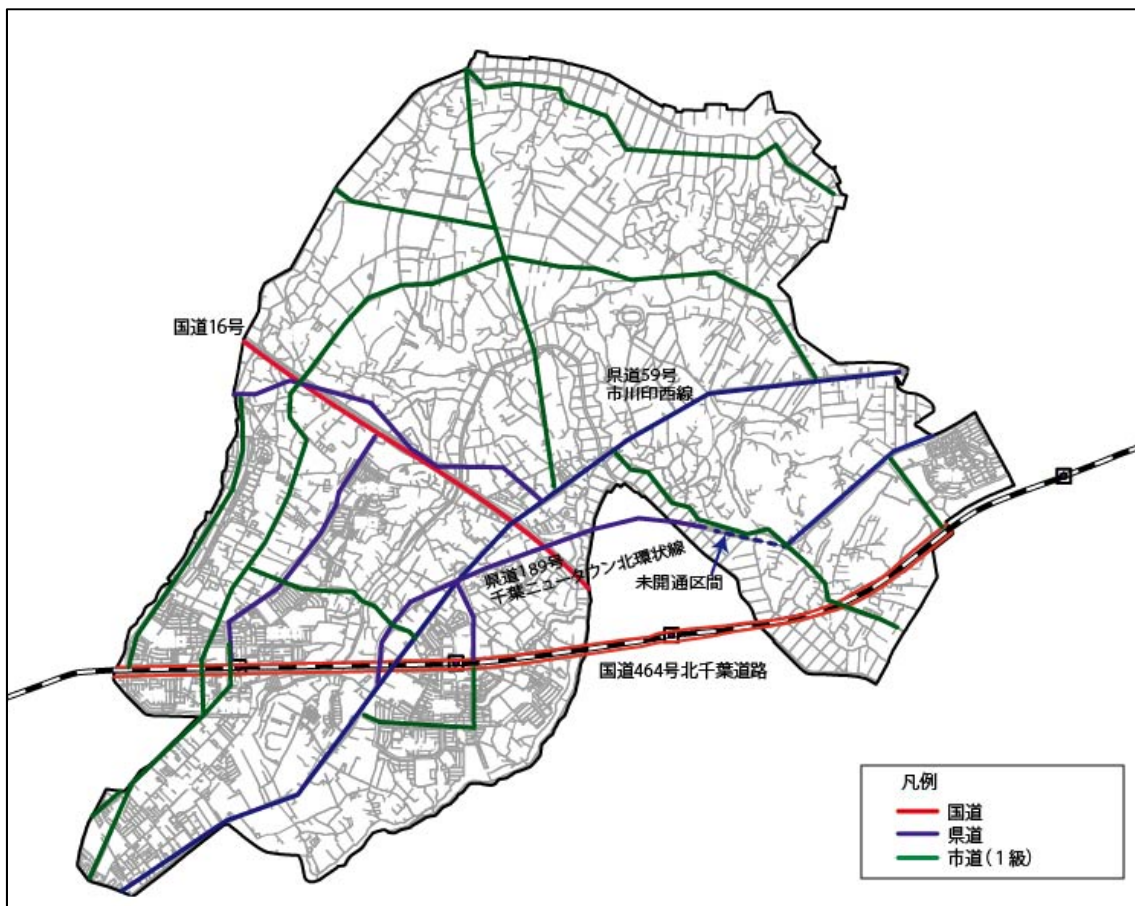


図9 道路網

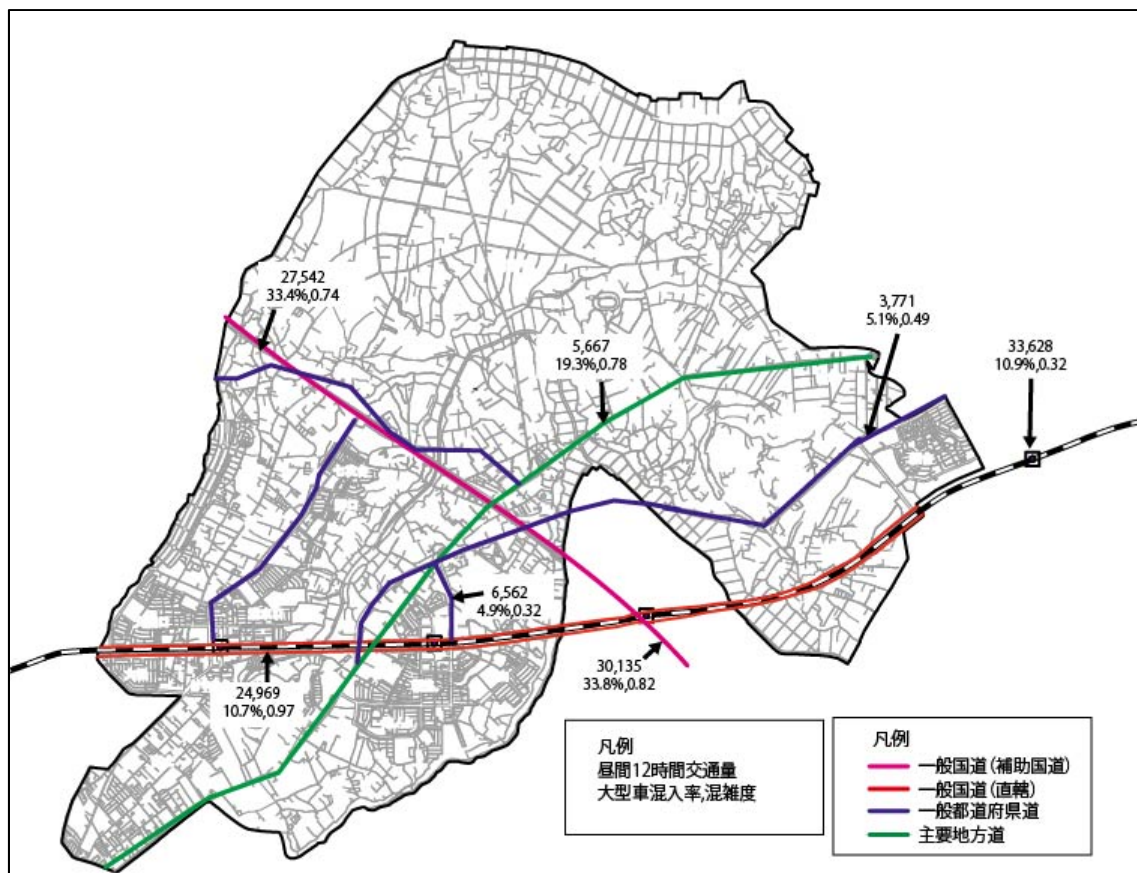
(2) 主要道路の交通実態

ア 道路交通センサス路線

市内における主要道路（道路交通センサス対象路線）の昼間 12 時間交通量の状況を見ると、国道 16 号が 27,542 台/12 時間と最も多く、国道 464 号北千葉道路（西白井駅付近）が 24,969 台/12 時間となっている。

大型車混入率をみると、国道 16 号が 33.4%と最も高くなっている。

混雑度をみると、最も高い地点は国道 464 号北千葉道路（西白井駅付近）の 0.97 であり、主要道路は、昼間 12 時間を通じて混雑することなく、円滑に走行できる結果となっている。



出典：平成 27 年度全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）

図 10 道路交通センサスの調査対象路線と調査結果

表 4 混雑度の定義

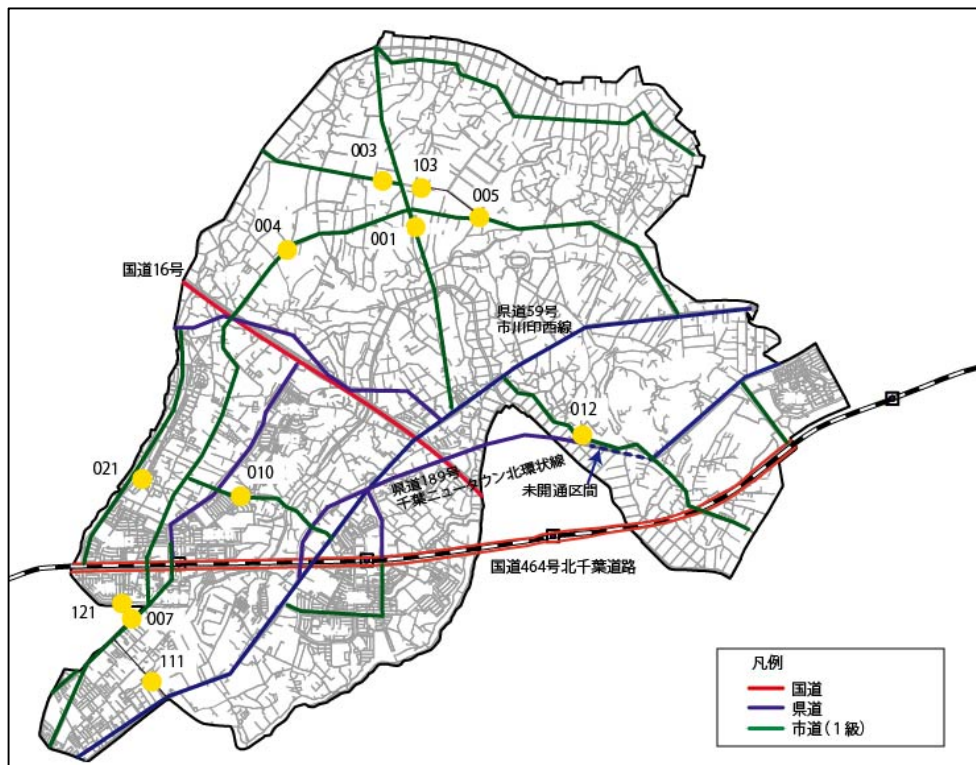
混雑度	交通状況の推定
1.0未満	飽和時間0、 $Q/C < 1.0$ 昼間12時間を通じて、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。 渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0 ～ 1.25	飽和時間はほとんどの区間で1～2時間以下、 Q/C はほとんどの区間で1.0以下で、 昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間（ピーク時間）ある。 何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25 ～ 1.75	飽和時間は0～12、 $Q/C > 1$ の時間が10～15% ピーク時はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する 可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。
1.75以上	飽和時間0がほとんどなくなる。 $Q/C > 1$ の時間が50%を超える 慢性的な混雑状態を呈する。

出典：道路の交通容量（昭和 59 年社団法人日本道路協会）

イ 交通量調査

平成 27 年度及び令和元年度に実施した市内 11 地点における交通量調査（12 時間交通量）の結果をみると、全体としては平成 27 年度から減少傾向にあるが、県道 189 号千葉ニュータウン北環状線の未開通区間で市道にう回する地点 012 では、平成 27 年度比で 38.9%増と大幅に交通量が増加している。

また、工業団地付近の地点 001・003・004・005・103 は、道路交通センサスの対象路線である県道と比べても比較的交通量が多い上に、大型車混入率は地点 103 で 27.3%、地点 004 で 25.8%、地点 003 で 25.5%、地点 001 で 23.9%と高くなっている。



単位:台/12 時間

路線名	平成 27 年度			令和元年度		
	小型車	大型車	計	小型車	大型車	計
00-001	5,159	1,885	7,044	5,311	1,665	6,976
00-003	5,254	1,986	7,240	5,157	1,764	6,921
00-004	5,188	2,146	7,334	4,923	1,711	6,634
00-005	5,805	1,064	6,869	6,023	753	6,776
00-007	12,644	921	13,565	12,329	926	13,255
00-010	3,807	152	3,959	4,233	156	4,389
00-012	6,347	545	6,892	8,946	625	9,571
00-021	7,221	1,073	8,294	7,202	1,048	8,250
00-103	6,274	2,597	8,871	6,316	2,377	8,693
00-111	5,631	359	5,990	5,634	413	6,047
00-121	3,348	280	3,628	3,337	228	3,565

工業団地付近の地点

※平成 27 年度より増加した結果は赤字、減少した結果は青字で表示

図 11 市内交通量調査の調査対象路線と調査結果

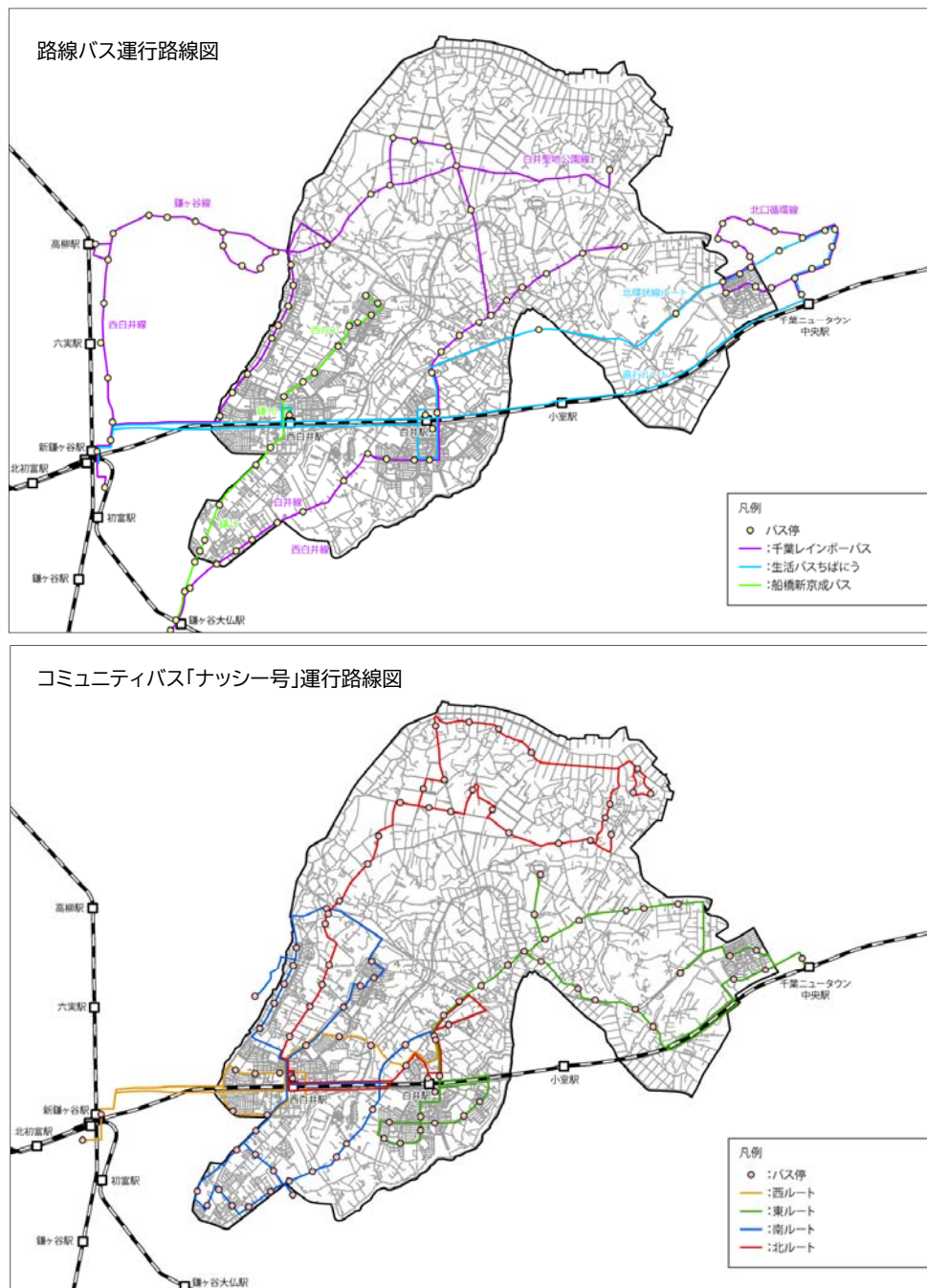
(3) 公共交通の運行状況

公共交通については、鉄道交通として北総線、バス交通として路線バスとコミュニティバス「ナッシー号」が運行している。

北総線は、成田空港や羽田空港に直結しており、市内には「白井駅」、「西白井駅」の2駅が位置している。

路線バスは、民間事業者3社が主に隣接市と市内を結ぶ幹線道路を運行しており、コミュニティバスは、市が公共交通空白地域の解消等を目的に4路線を運行している。

主に国道16号より北東側の地域に、鉄道駅やバス停から離れた交通空白地域が生じている状況にある。



※令和3年8月からコミュニティバス「ナッシー号」のルートの一部を変更予定

図12 市内のバス路線図

2-3 国道464号北千葉道路の動向

(1) 国道464号北千葉道路の概要

東西の広域的な骨格軸である国道464号北千葉道路は、外環道と成田空港を最短で結ぶ計画延長約43kmの幹線道路で、一部未整備区間が存在しているが、その整備により沿線地域の慢性的な交通混雑の課題を解決するとともに、首都圏の国際競争力の強化はもとより、災害時における緊急輸送路としても機能することが期待されている。

◆国道464号北千葉道路の政策目標

- ①成田空港等の拠点への高速移動の強化
- ②周辺道路の渋滞の緩和
- ③災害時の緊急輸送ネットワークの強化



図13 国道464号北千葉道路位置

出典：千葉県 HP

(2) 国道 464 号北千葉道路の整備状況及び今後の動向

国道 464 号北千葉道路の整備状況は、鎌ヶ谷市初富から印西市瀬戸間の約 21 kmが、4 車線または 8 車線の開通区間であり、印西市瀬戸から成田市押畑間の約 8.5 kmは、暫定 2 車線での開通区間である。成田市押畑から成田市大山間の約 3.7 kmは、事業中区間であり県施行で整備を進めている。

また、未事業化区間の市川市堀之内から鎌ヶ谷市初富間の約 9 kmを含む市川市から船橋市までの約 15 kmについては、国・県・沿線市で有料道路事業としての事業化を検討し、令和 3 年 1 月 12 日に自動車専用道路の新規設定などの都市計画変更が決定された。このうち、市川市堀之内から松戸市内を通過して市川市大町までの 3.5 kmについては、令和 3 年 3 月に新規事業化が決定され、今後整備が予定されている。



図14 国道 464 号北千葉道路の整備状況

出典：千葉県 HP

表 5 国道 464 号北千葉道路の整備状況一覧

整備状況	区間		計画延長		車線数
	起点	終点			
新規事業化	市川市堀之内	市川市大町	3.5 km		8 車線
未事業化区間	市川市大町	鎌ヶ谷市初富	約 5.5 km		—
開通区間	鎌ヶ谷市初富	白井市谷田	約 9.7 km	約 21.0 km	4 車線
	白井市谷田	印西市若萩	約 10.0 km		8 車線
	印西市若萩	印西市瀬戸	約 1.3 km		4 車線
暫定開通区間	印西市瀬戸	成田市押畑	約 8.5 km		2/4 車線（暫定）
事業中区間	成田市押畑	成田市大山	約 3.7 km		—

出典：千葉県 HP

3 市民アンケート調査

3-1 調査の概要

(1) 調査の目的

構想道路沿線地域に居住する市民の道路に対する満足度や要望等を把握し、今後の構想道路の計画化に向けた検討の基礎資料とする。

(2) 調査項目

- ・道路の混雑の状況について
- ・道路の安全の状況について
- ・道路利用に対する満足状況について
- ・構想道路について
- ・回答者属性

(3) 調査設計と回収状況

ア 調査地域：構想道路沿線地域（下図のとおり）

（折立、木、中、河原子、平塚、神々廻、十余一、清戸）

イ 調査対象：調査地域に在住の18歳以上の男女2,000人

ウ 抽出方法：令和2年10月末現在の住民基本台帳より無作為抽出

エ 調査時期：令和2年12月9日（水）～12月25日（金）

オ 回収状況：有効回収数（回収率） 720件（36.0%）

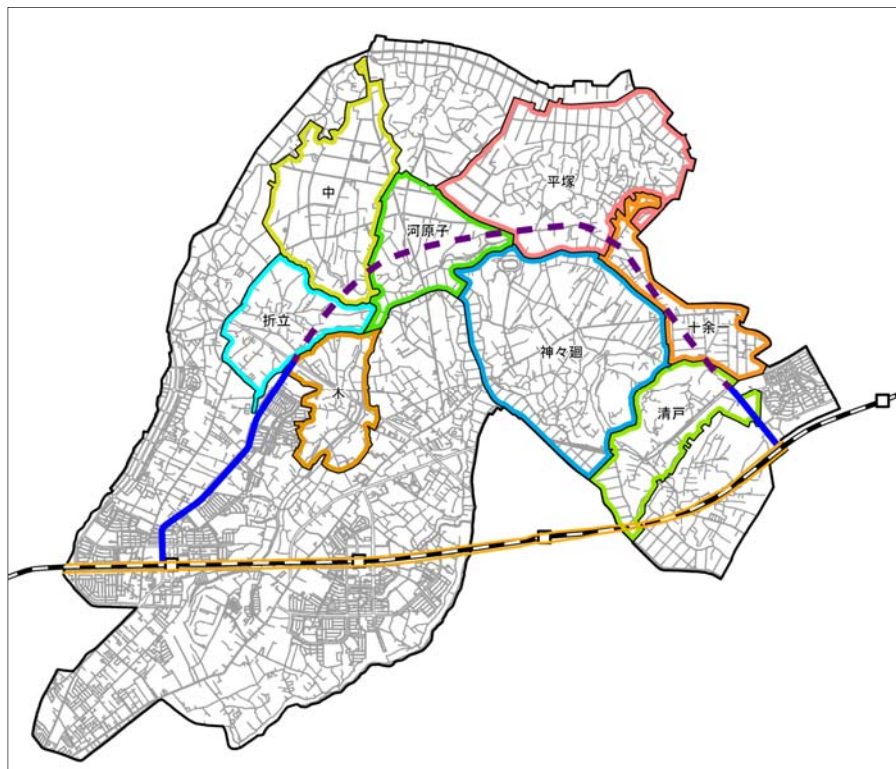


図15 調査地域

3-2 主な調査結果

(1) 日常生活における主な交通手段

日常生活における主な交通手段については、「自分が運転する自家用車」(81.4%)が最も多く、次いで「家族が運転する自家用車」(23.1%)となっており、自家用車への依存度が高いことがうかがえる。

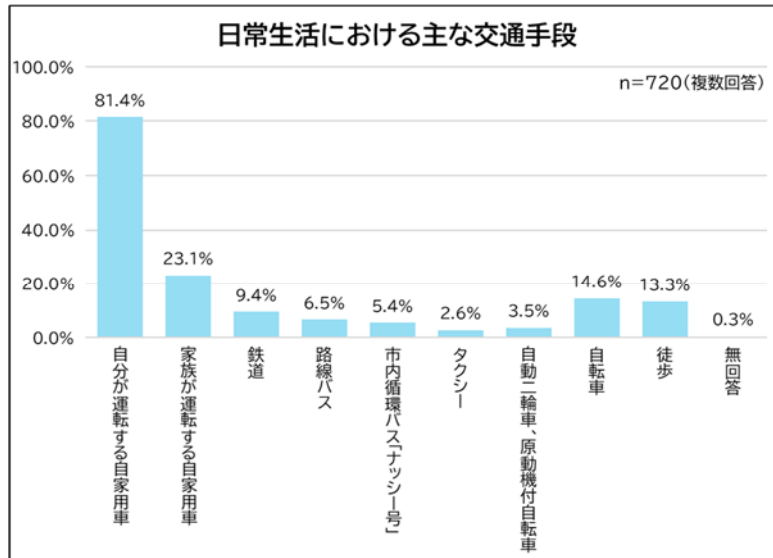


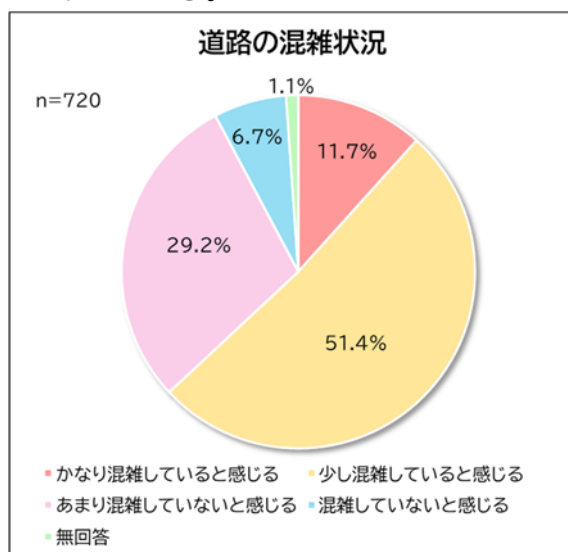
表6 日常生活における主な交通手段

(2) 道路の混雑状況

道路の混雑状況は、「かなり混雑していると感じる」(11.7%)と「少し混雑していると感じる」(51.4%)を合わせた『混雑を感じている』人は6割強となっている。

混雑を感じる具体的な場所や路線については、国道16号とその交差点を挙げる人が多い。

道路交通センサスにおいて、国道16号は市内でも交通量が多い路線であることを表した結果となっており、市民生活の観点から円滑な自動車交通が求められていることがうかがえる。



混雑を感じる場所や路線(上位のもの)

場所や路線	件数
国道16号	170
白井交差点	159
富塚交差点	107
県道59号市川印西線	62
国道464号北千葉道路	55
工業団地	49
富塚交差点～十余一	32
ウエルシア	23
神々廻交差点	23
柳屋洋品店	17
宗像神社	17

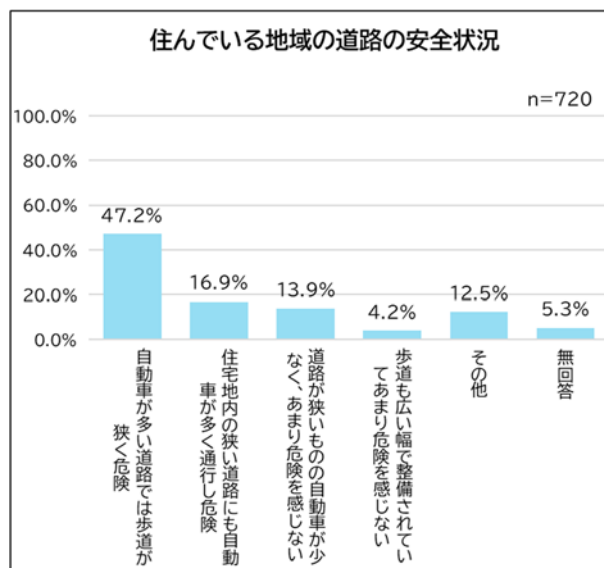
表7 道路の混雑状況

(3) 住んでいる地域の道路の安全状況

住んでいる地域の道路の安全状況については、「自動車が多い道路では歩道が狭く危険」(47.2%) が最も多く、半数弱を占めている。次いで、「住宅地内の狭い道路にも自動車が多く通行し危険」(16.9%) となっており、『危険を感じている』人は6割台半ばとなっている。

道路の危険を感じる場所や路線として、県道 59 号市川印西線を挙げる人が最も多く、次いで富塚交差点～十余一を結ぶ道路、清戸道となっている。

歩道の未整備や狭い道路幅員に加えて、富塚交差点～十余一を結ぶ道路については工業団地を通過するため、大型車の流入が多いことも危険を感じる要因となっていることがうかがえる。



危険を感じる場所や路線(上位のもの)

場所や路線	件数
県道59号市川印西線	116
富塚交差点～十余一	89
清戸道(市道00-108号線)	64
河原子街道(市道00-001号線)	29
工業団地	27
神々廻船尾街道(市道00-012号線)	27
県道280号白井流山線	20
風間街道(市道00-007号線)	20
来迎寺(折立)付近	15
タイヨー付近	12
平塚道(市道00-005号線)	12

表8 住んでいる地域の道路の安全状況

(4) 道路利用に対する満足状況

道路利用に対する満足状況については、全体的に「やや不満」と「非常に不満」を合わせた『不満を感じている』人が多い状況にある。

特に、「歩道を歩く際の快適さやゆとりの状況」に不満を感じている人は6割台半ばと最も多く、「自転車利用時の快適さ」、「白井駅・西白井駅までの所要時間」、「他都市への移動のしやすさ」に不満を感じている人も6割前後と多くなっており、歩道整備や拠点へのアクセス性が課題であることがうかがえる。

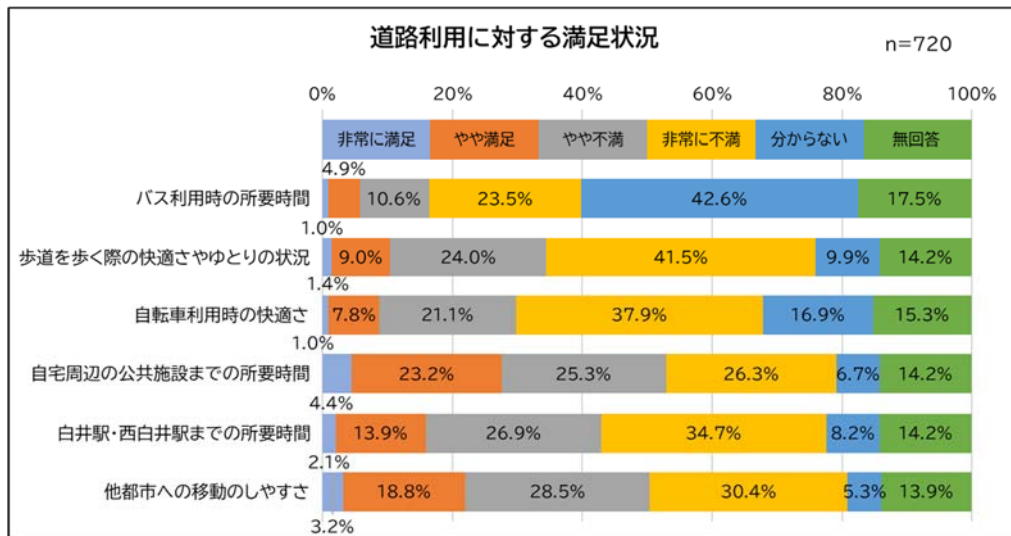


表9 道路利用に対する満足状況

(5) 構想道路の必要性

構想道路の必要性については、「必要である」と「どちらかといえば必要である」を合わせた『必要性を感じている』人は6割強となっている。

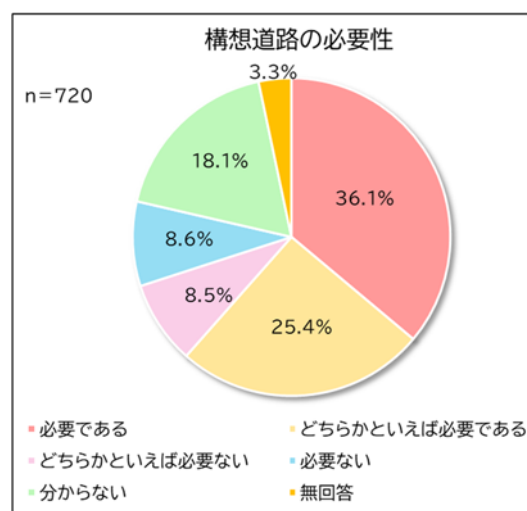


表10 構想道路の必要性

道路交通を取り巻く現状や市民アンケート調査【まとめ】

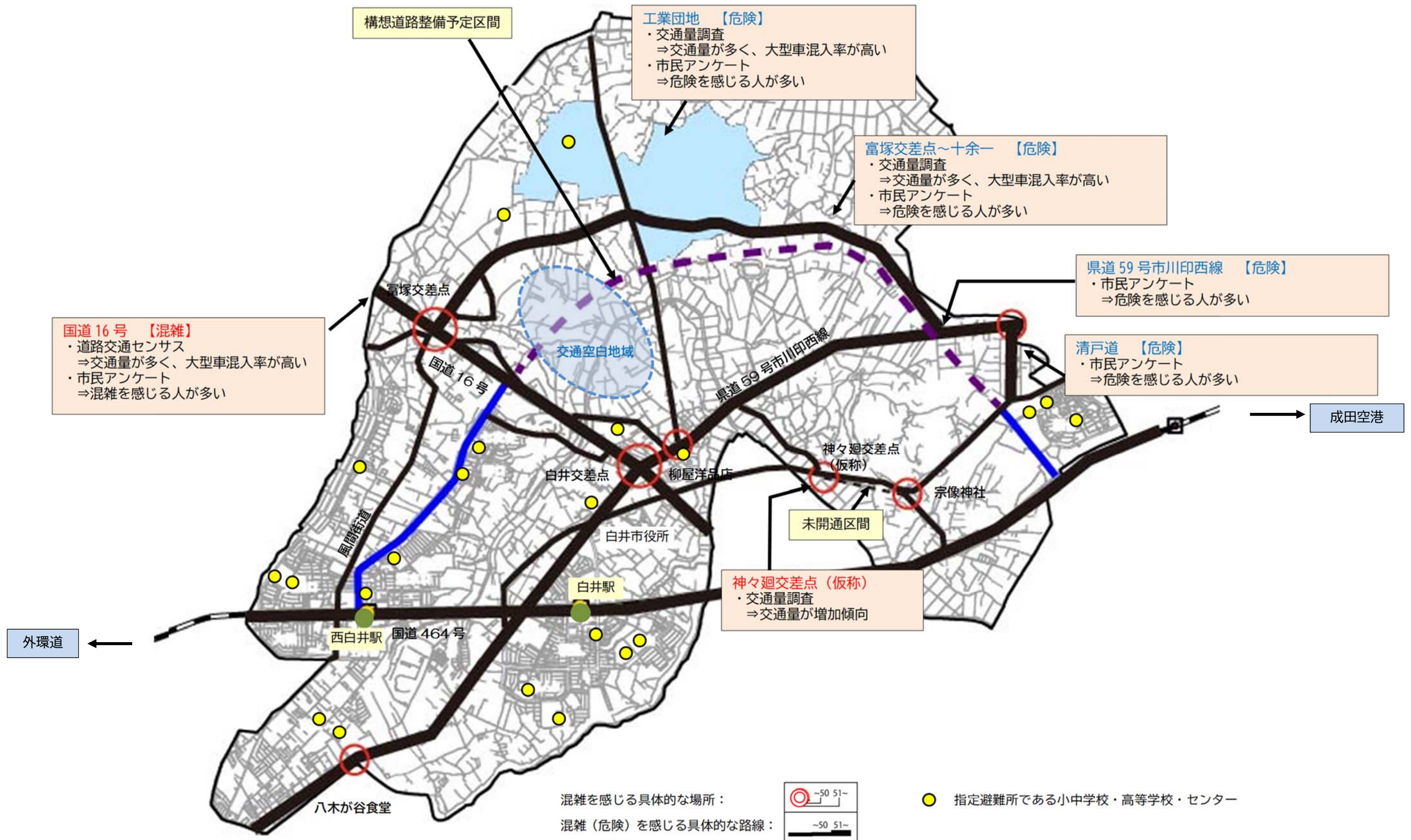


図16 道路交通を取り巻く現状や市民アンケート調査のまとめ

4 道路交通に関する課題

4-1 全市的な課題

(1) 広域道路ネットワーク

南北の広域的な骨格軸である国道 16 号は、大型車をはじめとして市外からの通過交通の流入等により、交通量が多くなっている。交通量の多さに伴う交通渋滞、交通渋滞による速達性の低下や渋滞損失の発生は市内に限られたものではなく、県北西地域に共通する課題となっており、現在、県や関係市により交通渋滞の緩和に向けたバイパス道路の整備等に関する検討や意見交換を進めているところである。

また、東西の広域的な骨格軸である国道 464 号北千葉道路は、成田方面での整備が進むとともに、市川市から鎌ヶ谷市間の未整備区間について有料道路事業としての事業化が進んでいることから、今後、更なる通過交通量の増加が見込まれる。

しかし、国道 464 号北千葉道路のう回路として期待されている県道 189 号千葉ニュータウン北環状線は一部区間が未開通となっており、道路ネットワークとしての機能を十分に発揮できていない状況にある。さらに、当該区間付近の交通量は増加傾向にあることから、自動車交通の円滑化に向けて県道 189 号千葉ニュータウン北環状線の早期整備が課題となっている。

(2) 高齢化の進展

今後、本格的な高齢化の進展が見込まれる中、高齢者が安全に移動できる環境を整えるため、公共交通ネットワークの利便性の向上と公共交通の利用促進を図り、自家用車から公共交通への移動手段の転換を促進していくことが求められている。

4-2 構想道路沿線地域の課題

(1) 交通空白地域

構想道路沿線地域では、人口密度の低い集落が点在していることや道路ネットワークの問題などから、交通空白地域が生じている状況にある。さらに、当該地域は高齢化が本格的に進展している地域であることを踏まえ、地域特性に応じた適切な交通手段の導入を検討していくとともに、利便性の高い公共交通ネットワークの構築により交通空白地域を解消していくことが求められている。

(2) 移動の利便性

構想道路沿線地域では、駅までの所要時間や他都市への移動のしやすさに不満を感じている人が多いことから、当該地域から市内外の拠点へのアクセス性の向上が求められている。

さらに、市役所、駅、スーパーや医療機関などの生活に必要な機能の多くが国道 16 号よりも南西側の地域に集積していることから、国道 16 号を挟んで北東側と南西側とのアクセス性の向上が必要である。

(3) 移動の安全性

構想道路沿線地域の富塚交差点～十倉一を結ぶ道路は、工業団地を通過するため、交通量が多いことに加えて、大型車混入率が高く、危険を感じている人が多い状況にある。

さらに、歩道の未整備や狭い道路幅員に危険や不満を感じる人が多いことを踏まえると、交通量の分散や自動車交通の円滑化等による安全性の向上とともに、歩道が未整備の区間や道路幅員が狭い区間の改善も進めていく必要がある。

なお、現在整備を進めている工業団地アクセス道路の開通により、工業団地における道路ネットワークの向上が図られ、大型車を中心とした交通量の分散による安全性の向上に寄与することが見込まれている。

(4) 緊急時の迅速な対応

消防署や警察署が国道 16 号よりも南西側の地域に集積していることから、国道 16 号交差点の混雑等の問題により、緊急時の迅速な輸送などの対応に支障をきたさないよう、国道 16 号を挟んで北東側と南西側とのアクセス性の向上が必要である。

5 構想道路の整備効果

5-1 直接的効果…道路ネットワークの強化

構想道路は、既存道路を介して国道 16 号と国道 464 号北千葉道路を環状に結び、広域的な道路ネットワークの強化に資するとともに、長期的には国道 464 号北千葉道路の全面開通による広域的な輸送力の強化等と相乗効果を発揮して、更にポテンシャルが向上することが見込まれる道路である。

また、一部区間が未開通となっている県道 189 号千葉ニュータウン北環状線の代替として、国道 464 号北千葉道路のう回路等として機能することが見込まれる。

さらに、構想道路沿線地域から市内外の拠点へのアクセス性の向上など、市内の道路ネットワークの強化が図られる。

なお、このような道路ネットワークの強化は、次のような多様な波及効果を生み出すことが見込まれる。

(1) 公共交通の充実

道路ネットワークの強化により、公共交通ネットワークの充実と利便性の向上が図られ、交通空白地域の解消のみならず、公共交通の利用拡大や速達性の向上が見込まれる。

(2) 移動の利便性の向上と円滑化

道路ネットワークの強化により、多方面へのアクセス機能が向上し、移動の利便性が向上するとともに、交通量が分散され、既存道路における交通渋滞の緩和、移動時間の短縮、自動車交通の円滑化等が見込まれる。

(3) 移動の安全性の向上

道路ネットワークの強化により、交通量が分散され、既存道路における安全性の向上が見込まれる。

(4) 都市防災機能の向上

緊急輸送道路（1 次路線）に指定されている国道 16 号と国道 464 号北千葉道路のネットワーク化により、災害時の緊急輸送力が強化されるとともに、迅速な救助・救援活動や市民の指定避難所への一層円滑な避難行動が可能となるなど、防災面での機能向上が見込まれる。

5－2 副次的効果…産業の活性化

構想道路の整備により、産業拠点である白井工業団地と、東京都心や成田方面とのアクセスが強化され、物流等の効率化による企業活動の活性化、白井工業団地の立地ポテンシャルの向上が図られるとともに、構想道路沿道における新たな土地利用も想定され、市内雇用の拡大、産業の活性化に寄与することが期待できる。

さらに、工業団地付近の道路は重要物流道路に指定されており、平常時・災害時を問わず安定的な輸送が求められているが、構想道路がこれらの道路と同様の機能を果たすことにより、更なる輸送の安定化に資することが期待される。

6 今後の主な検討事項

(1) 必要な道路機能の確保

工業団地に接続する道路としての機能や多方面へのアクセス機能をはじめ、歩道や植樹などの道路空間機能、沿道利用を誘導する機能など、構想道路に必要な道路機能の確保に向けた整備基準を検討する必要がある。

(2) 道路の耐災害性の確保

首都直下型地震など大規模な災害リスクが高まる中、災害時において、道路は緊急輸送路としての役割や災害の拡大を防止・遮断する役割など重要な役割を担うことから、道路の耐災害性の確保に向けた整備水準を検討する必要がある。

(3) 市民等とのコミュニケーション

市民アンケートの結果をみると、構想道路の必要性について「わからない」との回答が約2割あることから、市民や関係者等と構想道路の必要性に関する共通認識を図るとともに、構想道路の計画化の進捗状況に応じて、適時に適切な手法での情報提供や意見聴取などを検討する必要がある。

参考資料

- 1 上位計画における道路交通の位置づけ
- 2 市民アンケート調査結果
- 3 市民アンケート調査票

1 上位計画における道路交通の位置づけ

市の上位計画における道路交通に関する施策の目標や方向性は以下のとおりである。

(1) 白井市第5次総合計画後期基本計画 令和3年3月

内容	頁
2. まちづくりの重点戦略 戦略3 拠点創造プロジェクト 戦略3-1 都市拠点がにぎわうまちづくり (2) 工業団地における産業機能の向上に向けた環境整備 工業団地の活性化を図るため、 <u>工業団地へのアクセス道路の整備</u> や、工業団地における土地利用の誘導と操業環境の保全を進めます。	P. 54
戦略3-3 拠点を結ぶまちづくり (1) 幹線道路沿道などにおける開発誘導 羽田空港と成田空港の中間地点にあり、国道16号が通過しているという白井市の立地特性を活かし、企業等の進出を誘導します。また、 <u>構想道路の計画化</u> を進めるとともに、北千葉道路のインターチェンジ周辺の活用方針を検討します。	P. 58
(2) 都市拠点と各地域を結ぶ道路ネットワークの構築 市内を便利に移動しやすいよう <u>道路のネットワーク化</u> を進めるとともに、安全に移動できるよう幹線道路などの維持修繕を進めます。	P. 58
(3) 利便性の良い公共交通ネットワークの確保 拠点間を移動しやすいよう、北総線運賃対策をはじめ、バス・鉄道・タクシーなど <u>公共交通ネットワークの利便性の向上</u> を進めます。	P. 58

(2) 白井市都市マスタープラン 平成28年4月（令和2年6月 一部改訂）

内容	頁
4. 都市づくりの基本的視点と戦略プラン 都市づくり戦略プラン3 拠点がつながる都市づくり 拠点づくり 中心都市拠点・生活拠点として白井・西白井駅圏の魅力向上と産業拠点としての白井工業団地の活性化を図ります。 【主要な取組】 ・白井駅周辺、市役所周辺の中心都市拠点や西白井駅周辺の生活拠点での商業機能の強化と交流空間等の整備 ・ <u>白井工業団地内外のアクセス機能の充実</u> ・公益的施設誘導地区における新たな商業・物流拠点の創出と交流空間等の整備誘導 など	P. 24

内容	頁
拠点・交流の場のネットワーク それぞれの拠点・交流の場をネットワークするため、市内の計画道路の整備と<u>構想道路の計画化</u>の検討とともに、集落については、安心して安全に生活できるように生活道路等の整備を進めるとともに、<u>集落間や市街地と交通ネットワークの整備</u>を進めます。 【主要な取組】 ・計画道路の整備と構想道路の計画化 ・集落内の生活道路の整備 ・<u>公共交通について利便性向上の促進</u> など	P. 24
5. 分野別の基本方針 5-2-1 交通体系の整備方針 基本的な考え方 市内と広域との円滑な連携を進めるとともに、誰もが安全に移動できる空間と自然環境に対する配慮を目指します。 1 子どもや障がい者、高齢者をはじめすべての人々が安心して外出でき、歩ける環境を目指し、それぞれの地区が持つ特性を活かした、安全で快適な道路環境の計画・整備 2 <u>市民が移動する際の利便性の向上と公共交通網の充実</u> 3 <u>都市骨格である既存の幹線道路をより活かすための道路の充足とネットワーク化による交通の円滑な処理</u> 4 道路状況の把握と適切な修繕・補修	P. 31
●<u>公共交通のネットワーク</u>《バス》 ・本市で運行している循環バスについて、交通弱者等が利用しやすい運行内容など、<u>利便性の向上</u>を図る。	P. 32
●<u>道路のネットワーク</u> 「広域幹線道路」「地域間幹線道路」「都市幹線道路」「補助幹線道路」による<u>道路のネットワークの形成</u>を図ります。 なお、計画道路については計画的に事業を推進し、<u>構想道路については計画化への検討</u>を行います。	P. 32 ～P. 33

(3) 白井市地域公共交通網形成計画 平成 30 年 3 月

内容	頁
第3章 基本的な方針と計画の目標 3-2 対応方針と計画目標 対応方針1 新たな交通結節点を中心とした公共交通網を形成する 鉄道や既存の路線バスを軸とした<u>効率的な交通結節点を設定し、駅や主な施設、各地区とをつなげる幹線、支線の公共交通ネットワークを形成</u>します。コミュニティバスは、現在のルートが長く、速達性に欠けていることから、市内を大きく4つの地区に分け、各地区の特性や移動の需要を考慮した上で、これまで道路が狭くバスが運行できなかった地区においては、運行が可能となるような車両のサイズを検討し、地区内における詳細な路線の検討を行います。	P. 8～P. 9

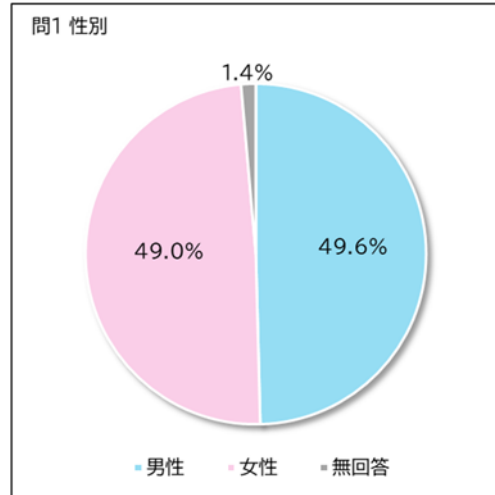
2 市民アンケート調査結果

(1) あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別は、どちらですか。次の中からどちらか一方に、○印をつけてください。

性別は、男女がほぼ半数ずつとなっている。

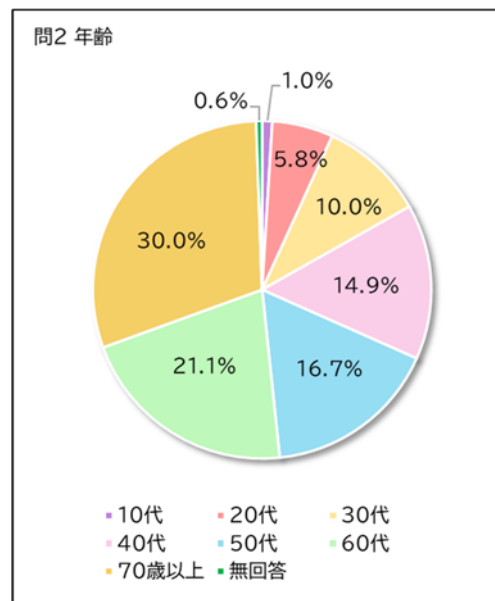
性別			
選択肢		回答数	割合
1	男性	357	49.6%
2	女性	353	49.0%
3	無回答	10	1.4%
合計		720	100.0%



問2 あなたの年齢は、おいくつですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○印をつけてください。

年齢は、「70歳以上」(30.0%)が最も多く、次いで「60代」(21.1%)となっている。

年齢			
選択肢		回答数	割合
1	10代	7	1.0%
2	20代	42	5.8%
3	30代	72	10.0%
4	40代	107	14.9%
5	50代	120	16.7%
6	60代	152	21.1%
7	70歳以上	216	30.0%
-	無回答	4	0.6%
合計		720	100.0%



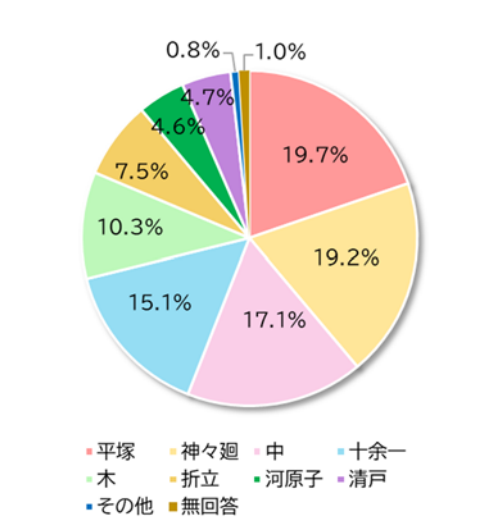
問3 あなたのお住まいは、どこですか。番地の番号までの記入は必要ありませんので、記入例を参考にお答え下さい。 記入例：白井市十余一

住まいは、「平塚」(19.7%)、「神々廻」(19.2%) が2割弱となっている。

住まい

	回答	回答数	割合
1	平塚	142	19.7%
2	神々廻	138	19.2%
3	中	123	17.1%
4	十余一	109	15.1%
5	木	74	10.3%
6	折立	54	7.5%
7	河原子	33	4.6%
8	清戸	34	4.7%
9	その他	6	0.8%
-	無回答	7	1.0%
	合計	720	100.0%

問3 住まい



問4 あなたの日常生活における主な交通手段を選んで、○印をつけてください。(複数回答可)

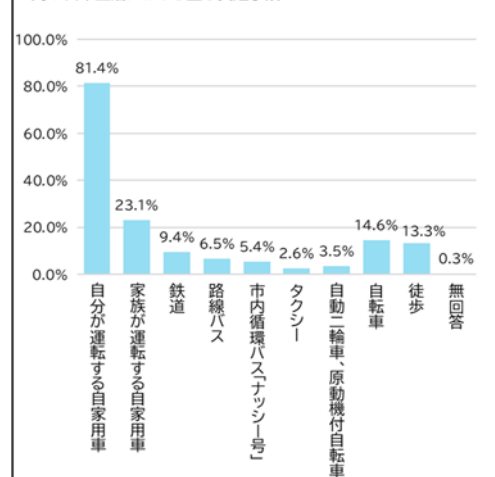
日常生活における主な交通手段は、「自分が運転する自家用車」(81.4%) が最も多く、次いで「家族が運転する自家用車」(23.1%) となっている。

日常生活における主な交通手段(複数回答)

	選択肢	回答数	割合
1	自分が運転する自家用車	586	81.4%
2	家族が運転する自家用車	166	23.1%
3	鉄道	68	9.4%
4	路線バス	47	6.5%
5	市内循環バス「ナッシー号」	39	5.4%
6	タクシー	19	2.6%
7	自動二輪車、原動機付自転車	25	3.5%
8	自転車	105	14.6%
9	徒歩	96	13.3%
-	無回答	2	0.3%
	合計	1,153	100.0%

※回答者数:720

問4 日常生活における主な交通手段



(2) 道路の混雑の状況について

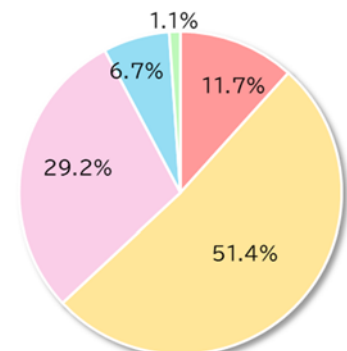
問5 あなたが日常生活で外出し移動している時、白井市内の道路は混雑していると感じることが多いですか。次の中からあてはまるものを1つ選んで、○印をつけてください。

道路の混雑状況は、「かなり混雑していると感じる」(11.7%)と「少し混雑していると感じる」(51.4%)を合わせた『混雑していると感じる』人は、6割強となっている。

道路の混雑状況

	選択肢	回答数	割合
1	かなり混雑していると感じる	84	11.7%
2	少し混雑していると感じる	370	51.4%
3	あまり混雑していないと感じる	210	29.2%
4	混雑していないと感じる	48	6.7%
-	無回答	8	1.1%
	合計	720	100.0%

問5 道路の混雑状況



■ かなり混雑していると感じる
 ■ 少し混雑していると感じる
 ■ あまり混雑していないと感じる
 ■ 混雑していないと感じる
 ■ 無回答

問5で「1. かなり混雑していると感じる」「2. 少し混雑していると感じる」と回答した方のみお答えください。

問6 混雑を感じる道路の交差点や位置を、記入例を参考に、分かる範囲で構いませんので、具体的にお答えください。

記入例その1（交差点の名称が分かる場合）：国道16号の白井交差点

記入例その2（名称は分からないが概ね位置が分かる場合）：白井工業団地周辺の道路

道路の混雑を感じる場所や路線として、国道16号及びその交差点を挙げる人が半数を超えている。

◆道路の混雑を感じる場所や路線

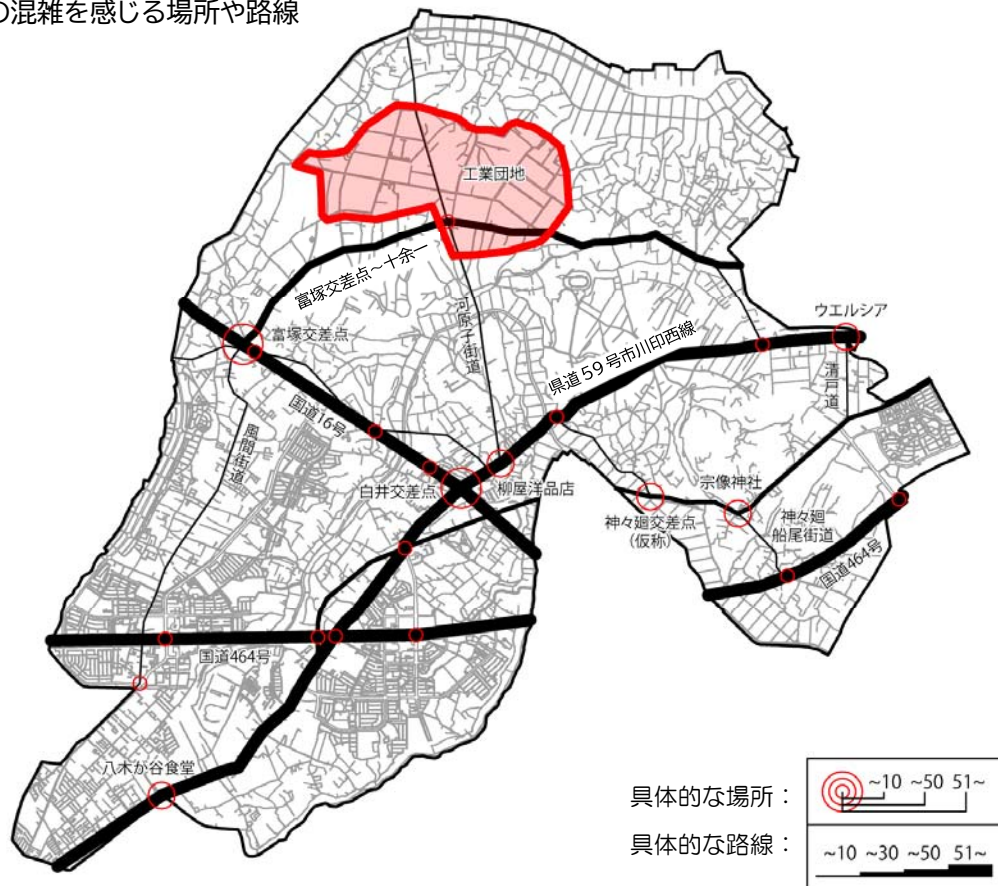


図 4-2 混雑を感じる場所や路線

【上位結果】

場所や路線	件数
国道16号	170
白井交差点	159
富塚交差点	107
県道59号市川印西線	62
国道464号北千葉道路	55
工業団地	49
富塚交差点～十余一	32
ウエルシア	23
神々廻交差点	23
柳屋洋品店	17
宗像神社	17

(3) 道路の安全の状況について

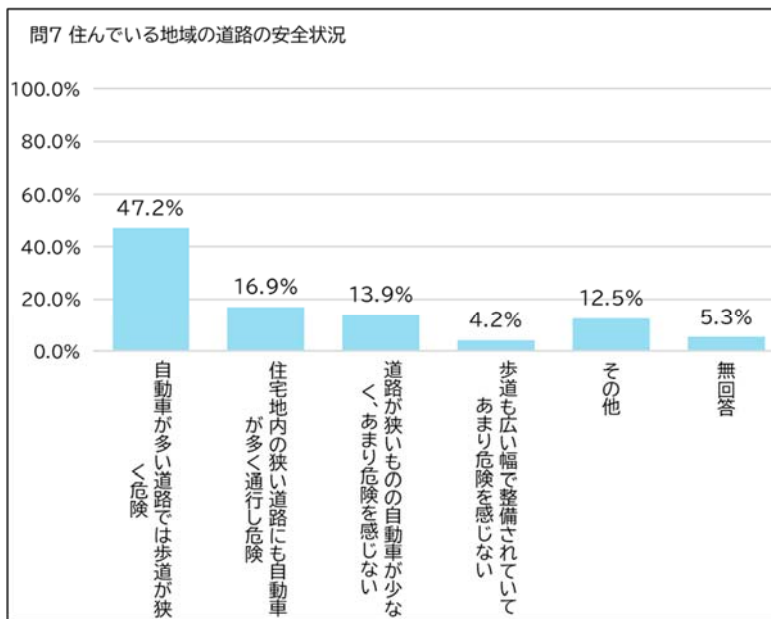
問7 あなたが住んでいる地域の道路の安全の状況は、どのような感じますか。次の中から最もあてはまるものを1つ選んで、○印をつけてください。

住んでいる地域の道路の安全状況については、「自動車が多い道路では歩道が狭く危険」(47.2%)が最も多く、半数弱を占めている。次いで、「住宅地内の狭い道路にも自動車が多く通行し危険」(16.9%)となっており、『危険を感じている』人は6割を超えている。

また、その他の回答内容として、歩道の狭さ、歩道の未整備に関する意見が複数挙げられている。

住んでいる地域の道路の安全状況

選択肢		回答数	割合
1	自動車が多い道路では歩道が狭く危険	340	47.2%
2	住宅地内の狭い道路にも自動車が多く通行し危険	122	16.9%
3	道路が狭いものの自動車が少なく、あまり危険を感じない	100	13.9%
4	歩道も広い幅で整備されていてあまり危険を感じない	30	4.2%
5	その他	90	12.5%
-	無回答	38	5.3%
合計		720	100.0%



「その他」の主な回答内容：

歩道が狭い・歩道が無いため危険(20件)、車道の幅員が狭く危険(15件)、大型車の走行に関する危険(15件)、車両のスピード(速度超過)に関する危険(5件)等

問7で「1. 自動車が多い道路では、歩道が狭く、危険と感じている」若しくは「2. 住宅地内の狭い道路にも、自動車が多く通行しているため、危険と感じている」と回答した方のみお答えください。

問8 危険を感じる道路やその位置を、記入例を参考に、分かる範囲で構いませんので、具体的にお答えください。

記入例その1（道路の名称が分かる場合）：鮮魚街道

記入例その2（名称は分からないが概ね位置が分かる場合）：白井中学校前の道路

道路の危険を感じる場所や路線として、県道59号市川印西線を挙げる人が最も多く、次いで富塚交差点～十余一を結ぶ道路、清戸道となっている。

◆道路の危険を感じる場所や路線

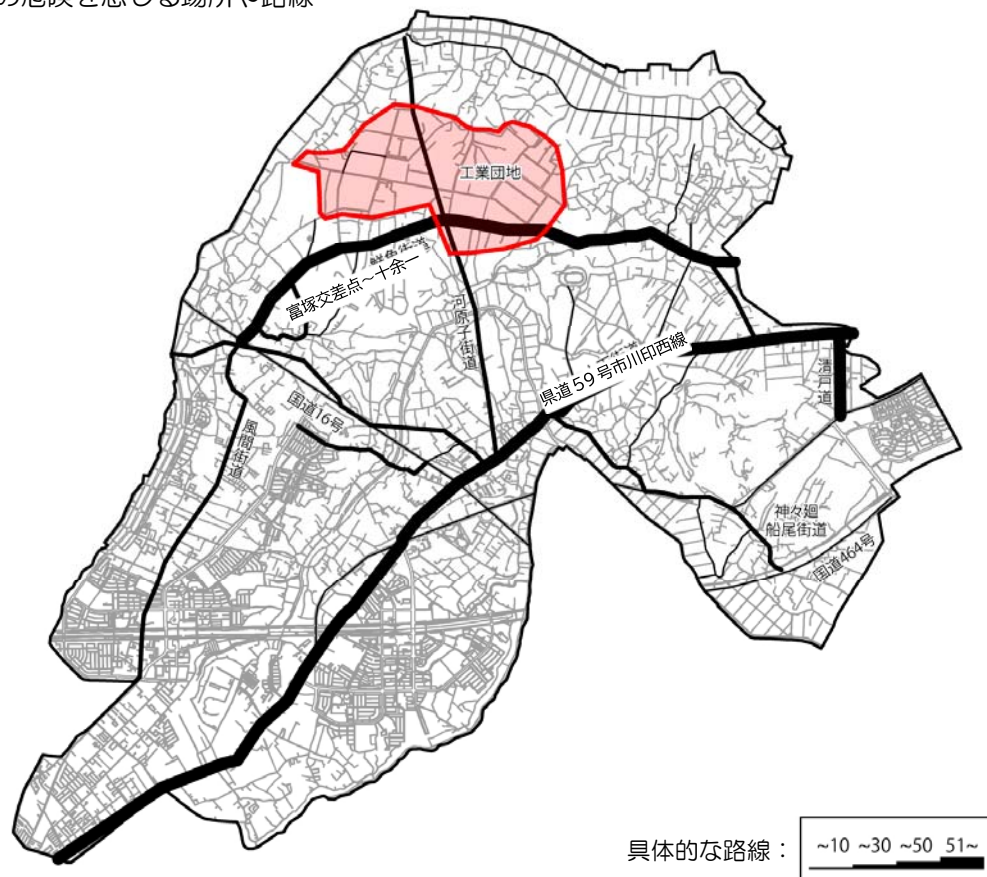


図4-2 危険を感じる場所や路線

【上位結果】

場所や路線	件数
県道59号市川印西線	116
富塚交差点～十余一	89
清戸道(市道00-108号線)	64
河原子街道(市道00-001号線)	29
工業団地	27
神々廻船尾街道(市道00-012号線)	27
県道280号白井流山線	20
風間街道(市道00-007号線)	20
来迎寺(折立)付近	15
タイヨー付近	12
平塚道(市道00-005号線)	12

(4) 道路利用に対する満足状況について

問9 あなたが道路利用する際の満足状況を回答してください。各項目について、満足状況を1つ選んでください。

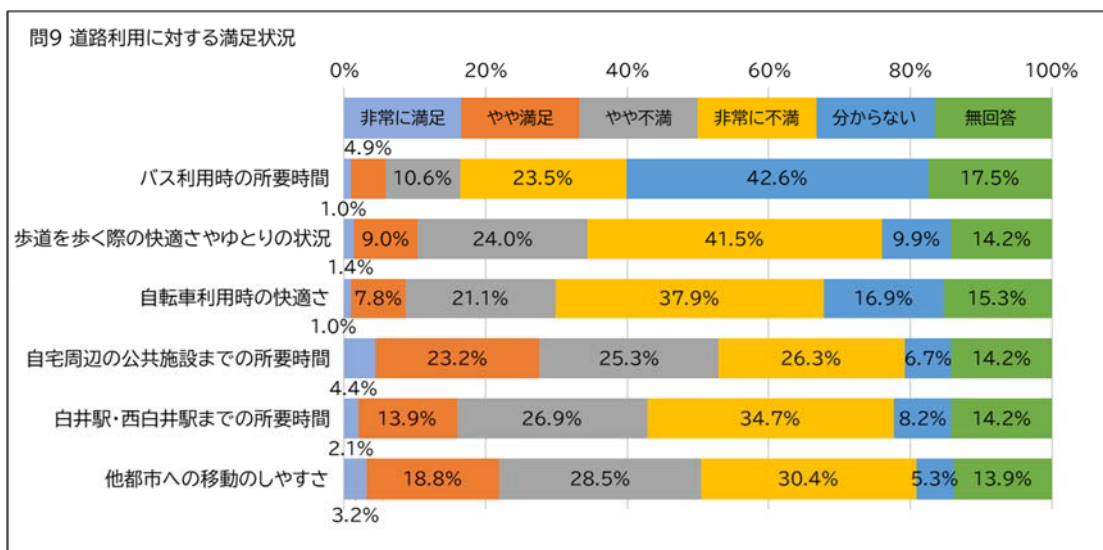
道路利用に対する満足状況については、全体的に「やや不満」と「非常に不満」を合わせた『不満を感じている』人が多い状況にある。

特に、「歩道を歩く際の快適さやゆとりの状況」に不満を感じている人は6割台半ばと最も多く、「自転車利用時の快適さ」、「白井駅・西白井駅までの所要時間」、「他都市への移動のしやすさ」に不満を感じている人も6割前後と多くなっている。

「自宅周辺の公共施設までの所要時間」については、他の項目と比較して「非常に満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』人が多くなっている。

道路利用に対する満足状況

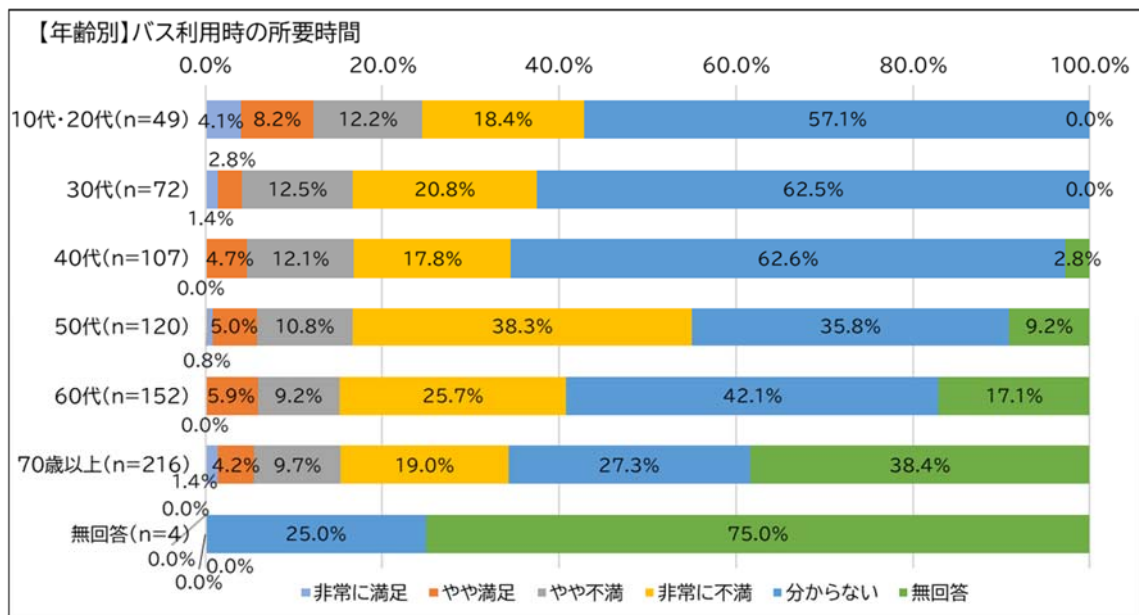
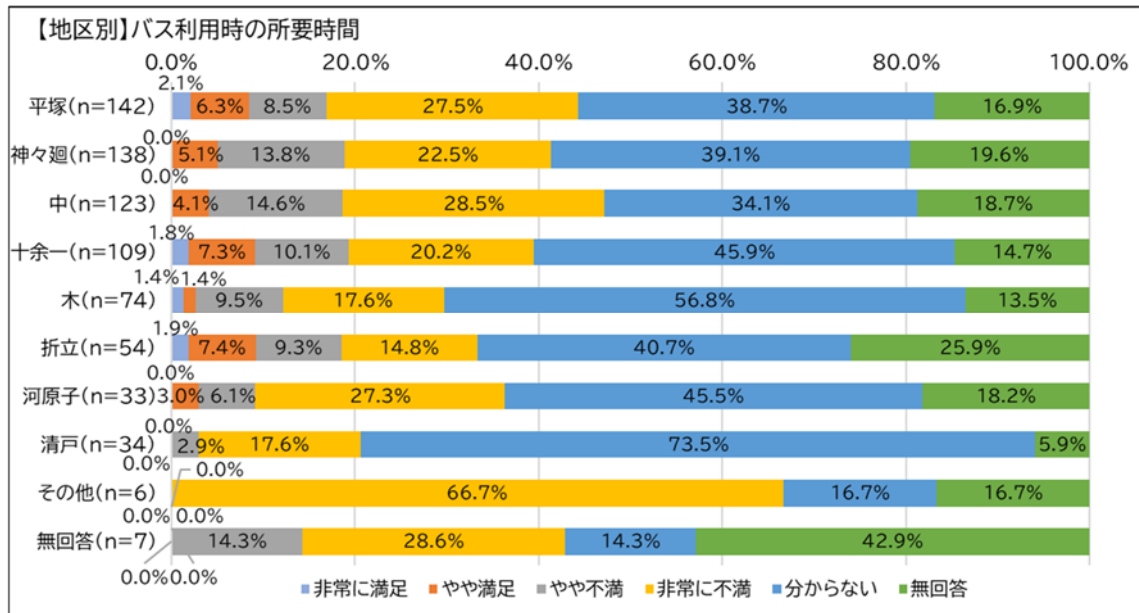
	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	分からない	無回答
1 バス利用時の所要時間	7	35	76	169	307	126
2 歩道を歩く際の快適さやゆとりの状況	10	65	173	299	71	102
3 自転車利用時の快適さ	7	56	152	273	122	110
4 自宅周辺の公共施設までの所要時間	32	167	182	189	48	102
5 白井駅・西白井駅までの所要時間	15	100	194	250	59	102
6 他都市への移動のしやすさ	23	135	205	219	38	100



≪地区別・年齢別の回答状況≫

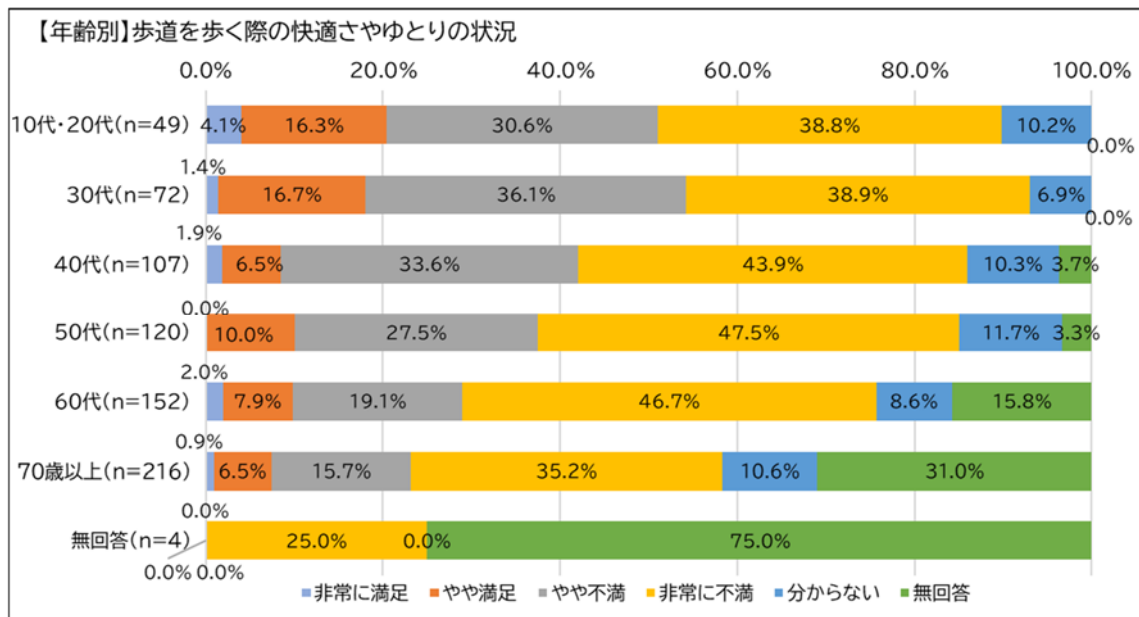
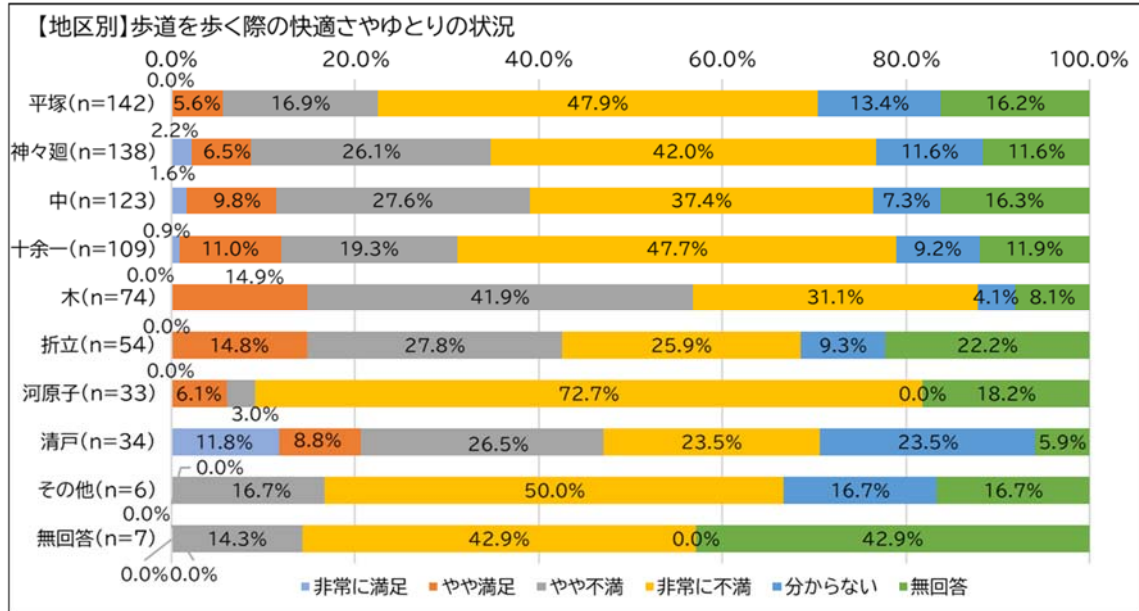
①バス利用時の所要時間

『不満を感じている』人は、地区別では「中」で、年齢別では「50代」で多くなっている。



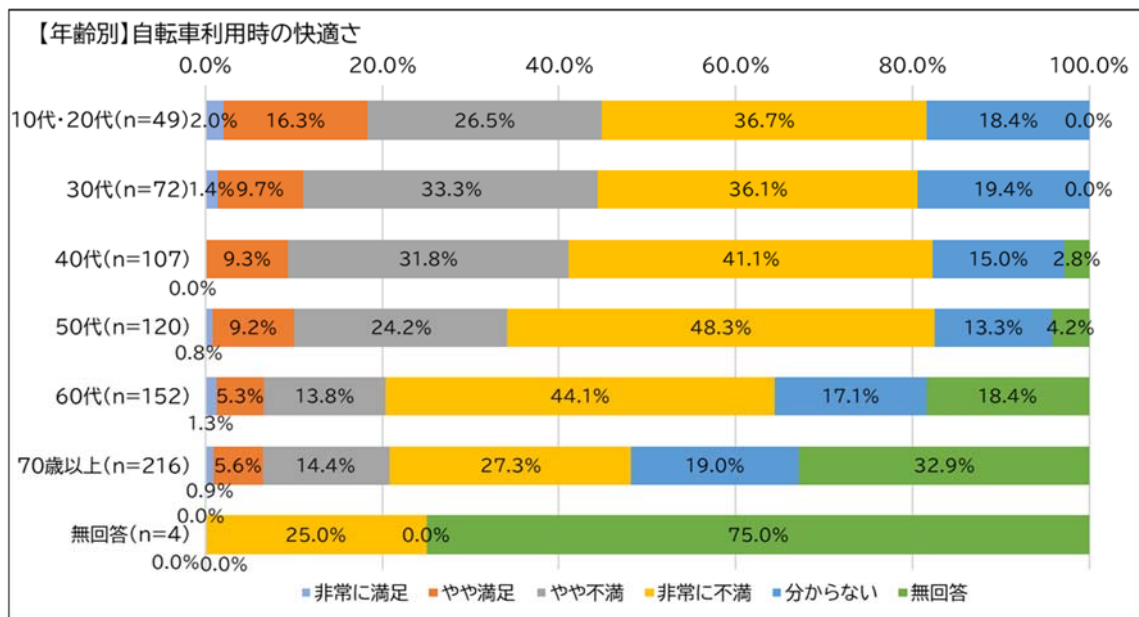
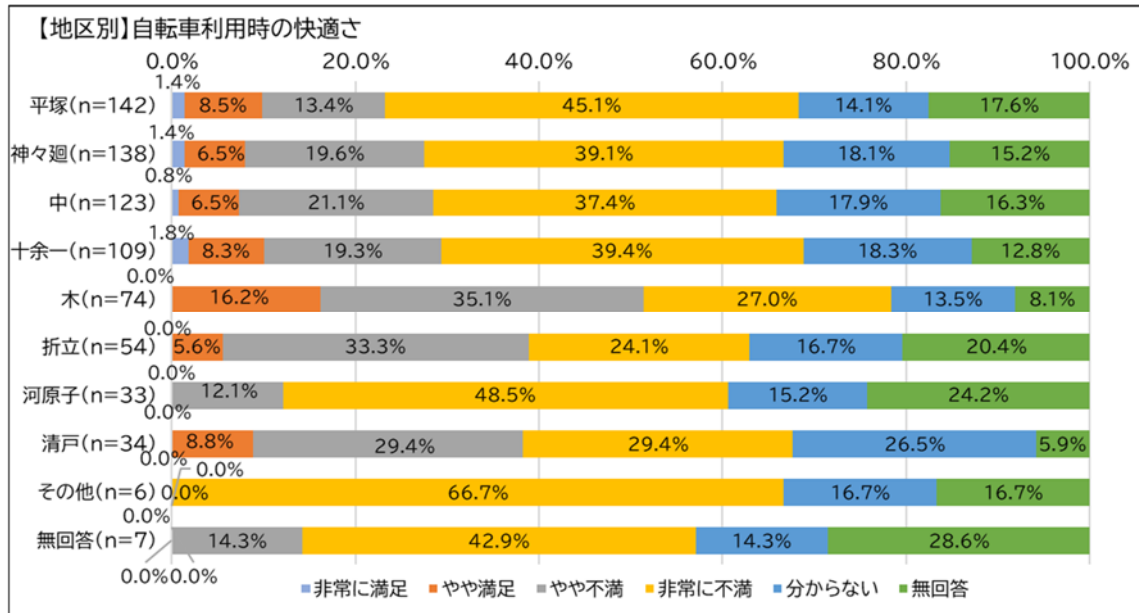
②歩道を歩く際の快適さやゆとりの状況

『不満を感じている』人は、地区別では「木」、「河原子」で、年齢別では30代～50代で多くなっている。



③自転車利用時の快適さ

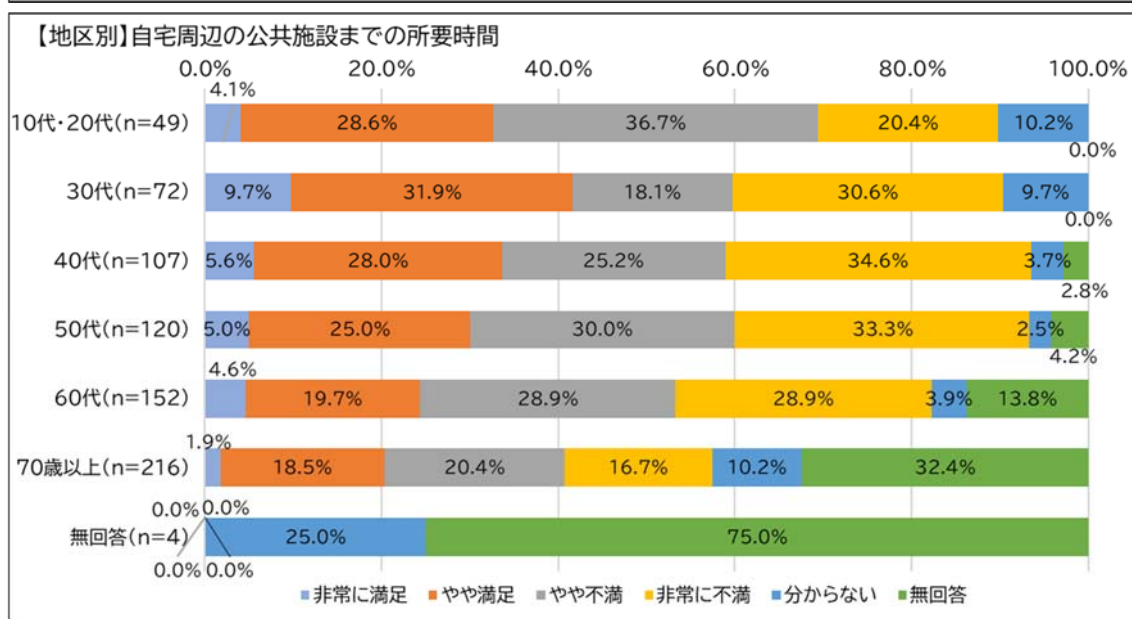
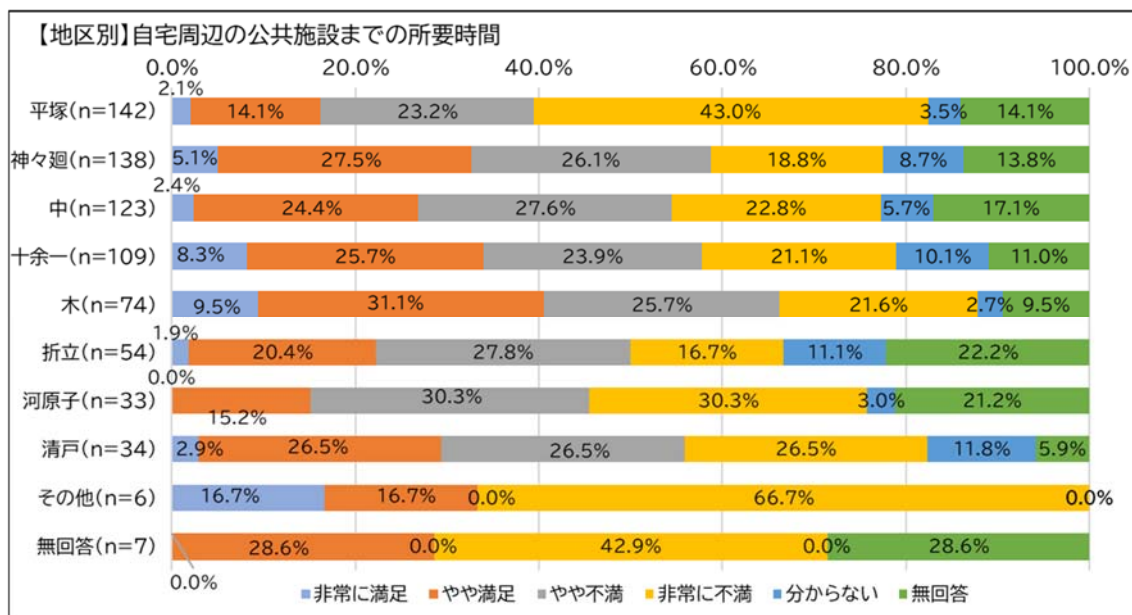
『不満を感じている』人は、地区別では「木」、「河原子」で、年齢別では30代～50代で多くなっている。



④自宅周辺の公共施設までの所要時間

『不満を感じている』人は、地区別では「平塚」、「河原子」で、年齢別では「50代」で多くなっている。

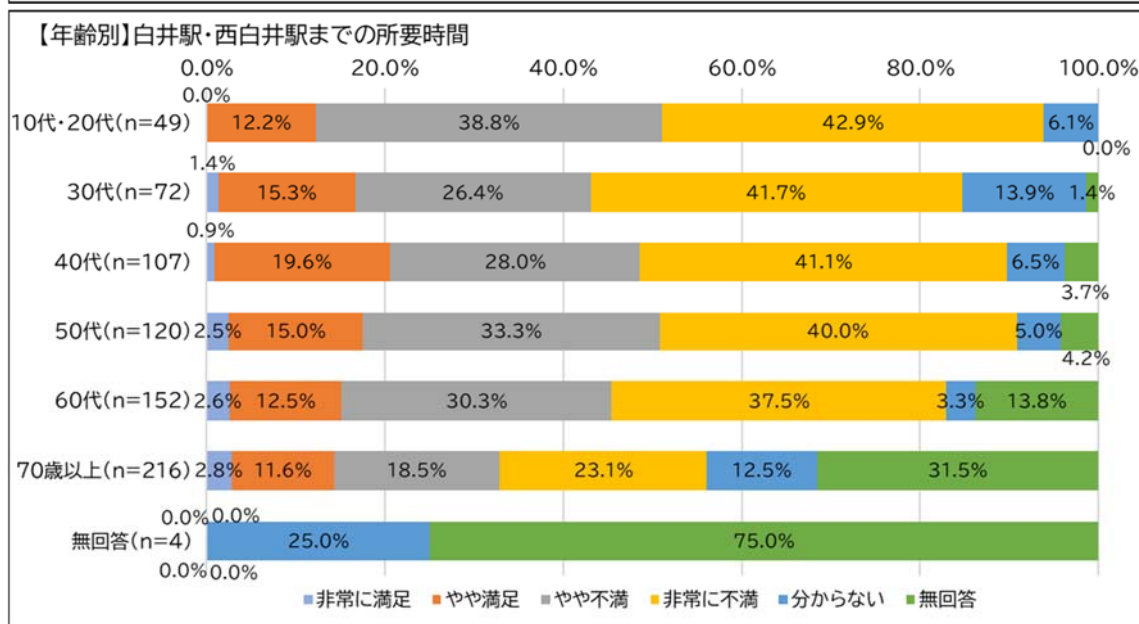
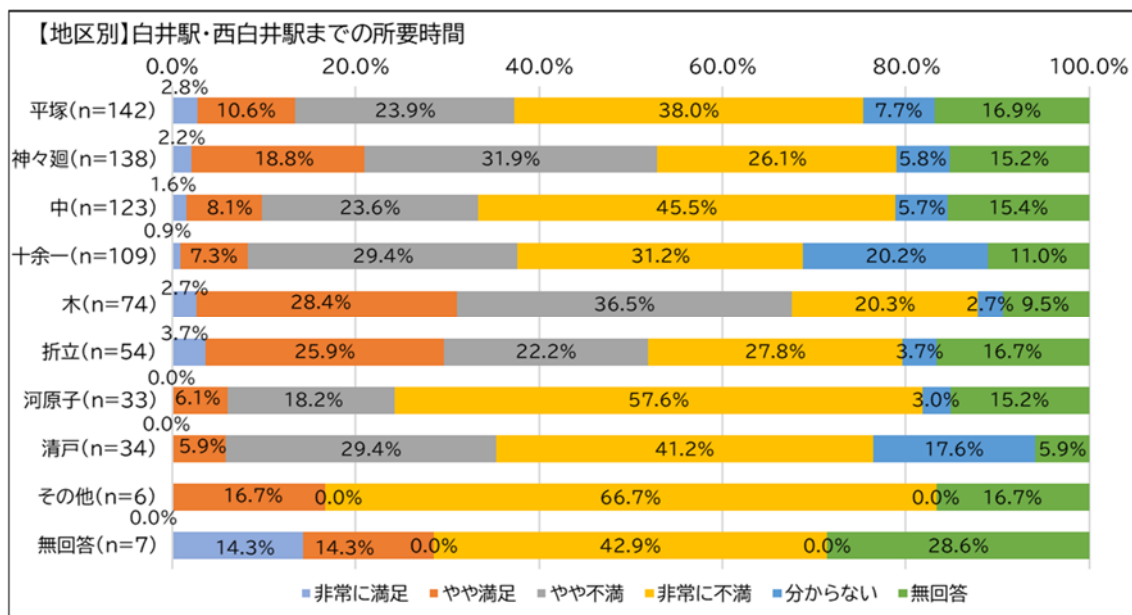
一方、『満足している』人は、地区別では「神々廻」、「十余一」、「木」で、年齢別では「30代」で比較的多くなっている。



⑤白井駅・西白井駅までの所要時間

『不満を感じている』人は、地区別では「中」、「河原子」、「清戸」で、年齢別では「10代・20代」、「50代」で多くなっている。

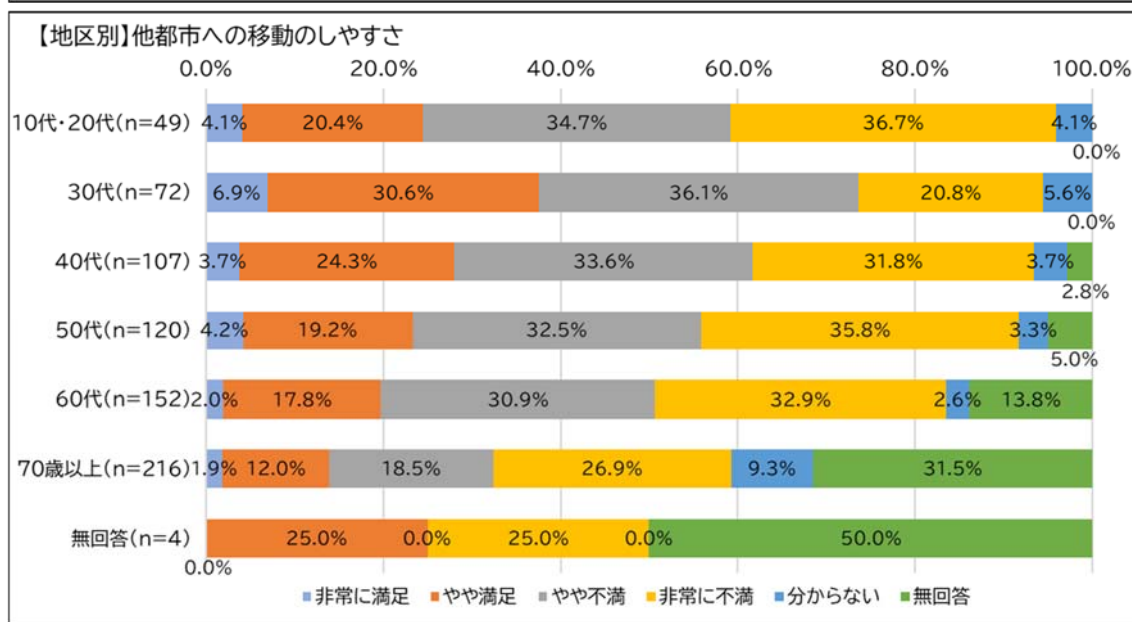
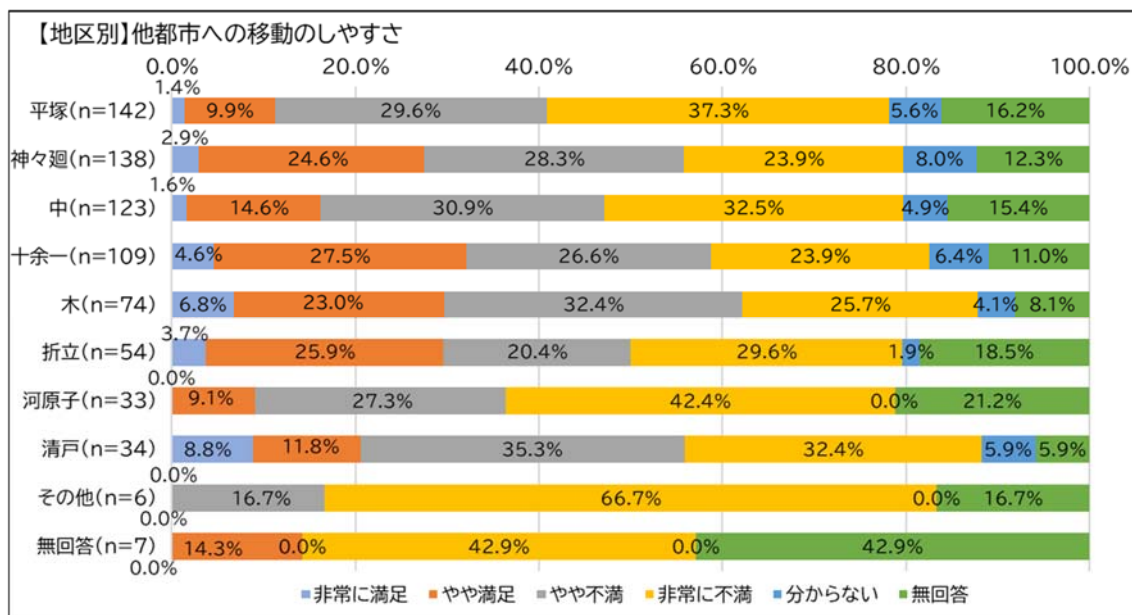
一方、『満足している』人は、地区別の「木」、「折立」で多くなっている。



⑥他都市への移動のしやすさ

『不満を感じている』人は、地区別では「平塚」、「河原子」、「清戸」で、年齢別では「10代・20代」、「50代」で多くなっている。

一方、『満足している』人は、年齢別の「30代」で比較的多くなっている。



(5) 構想道路について

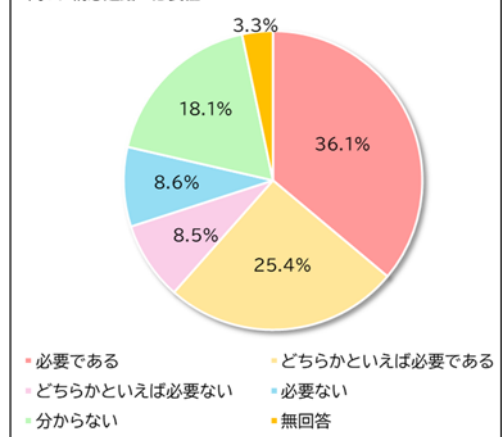
問10 構想道路は必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで、○印をつけてください。

構想道路の必要性については、「必要である」と「どちらかといえば必要である」を合わせた『必要性を感じている』人は6割強となっている。

構想道路の必要性

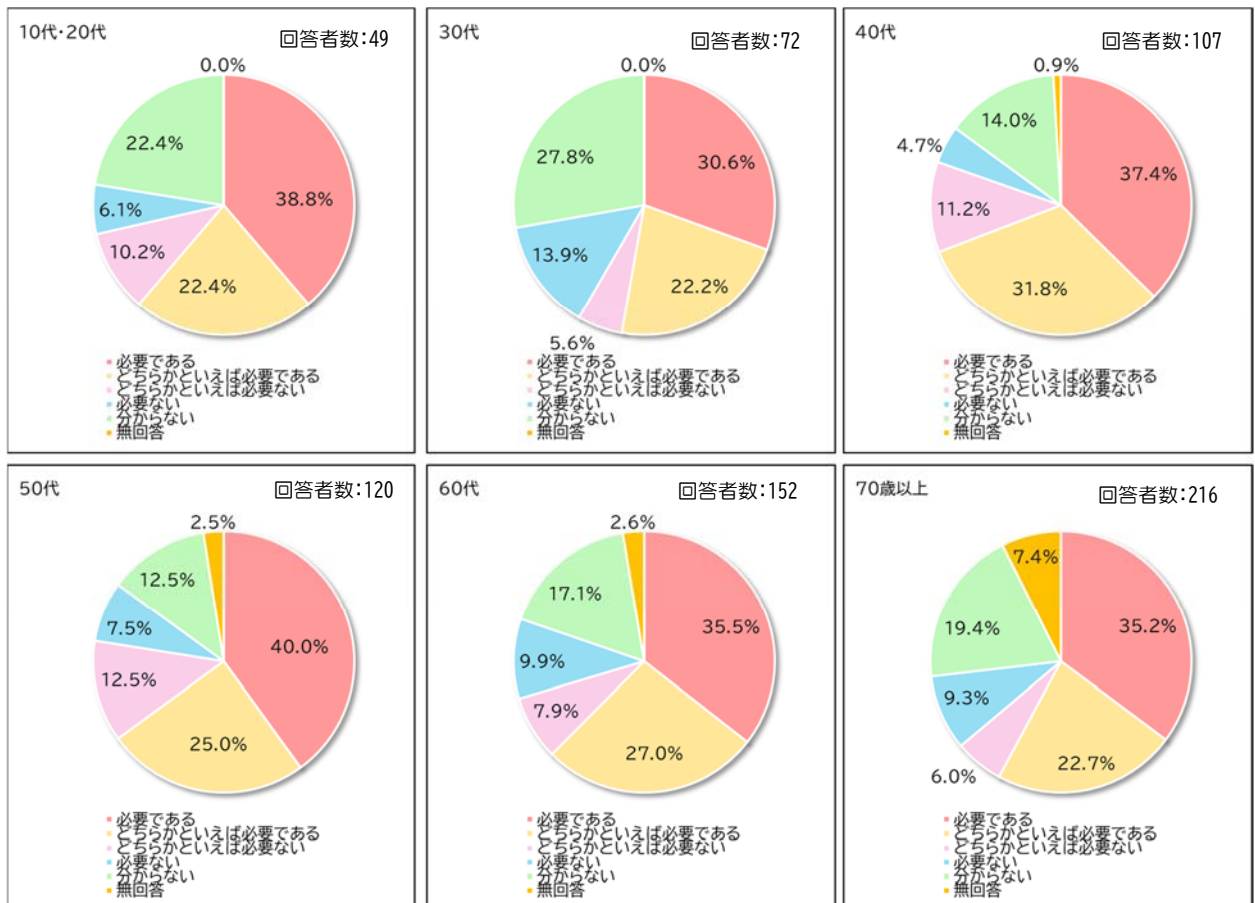
選択肢	回答数	割合
1 必要である	260	36.1%
2 どちらかといえば必要である	183	25.4%
3 どちらかといえば必要ない	61	8.5%
4 必要ない	62	8.6%
5 分からない	130	18.1%
- 無回答	24	3.3%
合計	720	100.0%

問10 構想道路の必要性



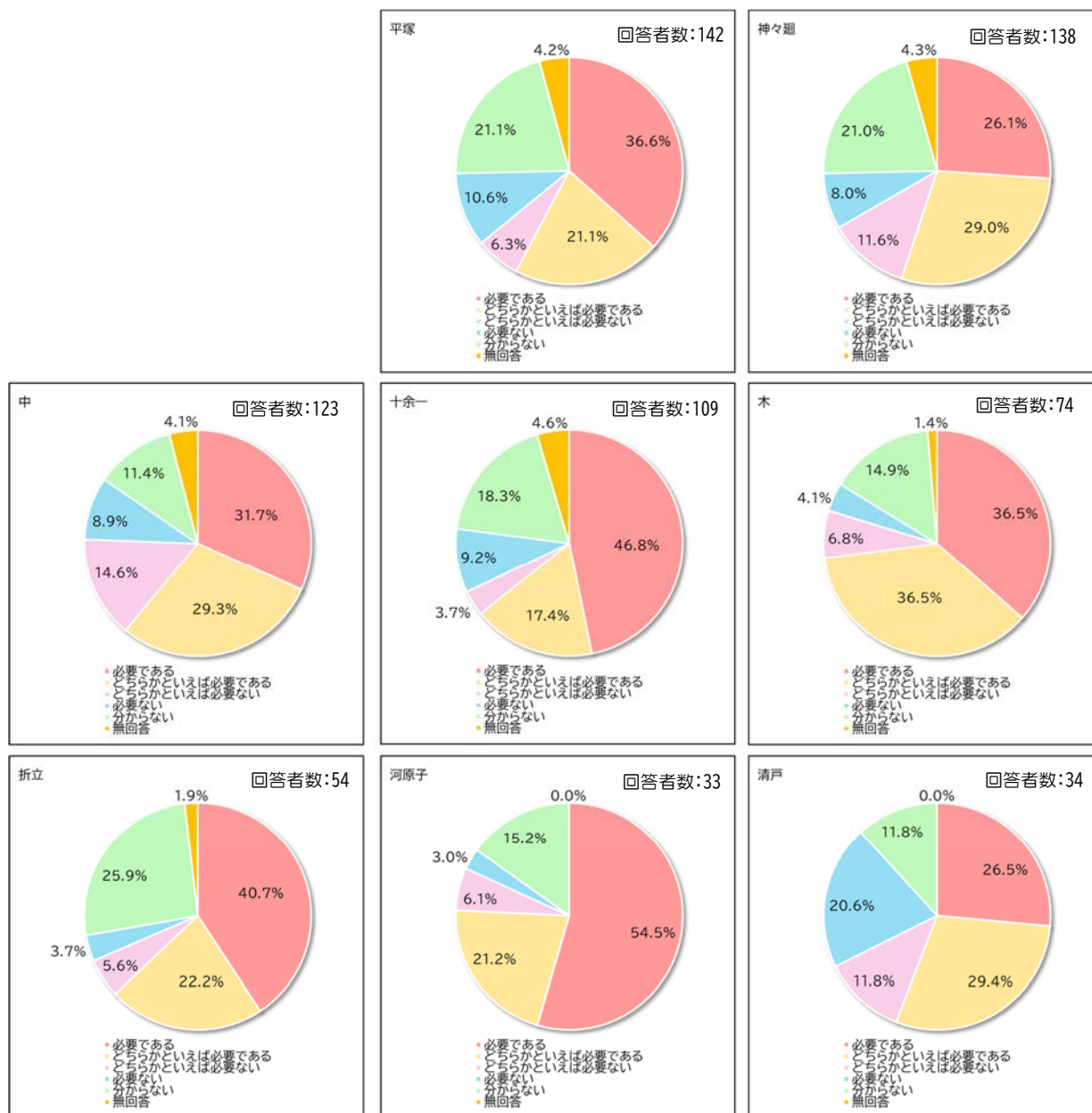
≪年齢別≫

年齢別では、全世代において『必要性を感じている』人の割合が過半数を占めており、特に「40代」では7割弱と多くなっている。



《地区別》

地区別では、全ての地区において『必要性を感じている』人の割合が過半数を占めており、特に「河原子」、「木」では7割を超えている。



その他の居住地および無回答：13

問１１ 問１０で回答した理由を具体的にお答えください。

記入例その１（必要である場合）白井市の発展のため。混雑緩和のため。

記入例その２（必要でない場合）：別の事業に予算を充てるべきと考えるため。

「必要」と回答した理由は、「混雑緩和・事故を減らすため」が多く、意見全体の約半数を占めており、次いで「市の発展のため」が多く挙げられている。

「必要ない」と回答した理由は、「既存道路の整備を優先すべき」、「別事業、他の区間の道路開発を優先すべき」が多く挙げられている。

◆構想道路が必要だと思う理由

意向	カテゴリー	件数
必要・ どちらかといえば必要	混雑緩和・事故を減らすため	186
	市の発展のため	105
	安全性向上のため	38
	交通利便性向上のため	33
	その他	15
	合計	377

未回答:66

◆構想道路が不必要だと思う理由

意向	カテゴリー	件数
必要ない・ どちらかといえば 必要ない	既存道路の整備を優先すべき	31
	別事業、他の区間の道路開発を優先すべき	29
	交通量が増加するため	12
	利用しないため無くても支障がない	9
	効果が期待できない	5
	その他	5
	合計	91

未回答:32

◆必要・不必要について「分からない」と回答した人の主な理由(参考)

意向	カテゴリー	件数
分からない	構想道路の位置・内容がよくわからない	9
	通行しない場所のため	7
	必要性が不明	6
	既存道路の整備を優先すべき	4
	交通量が増加するため	2
	合計	28

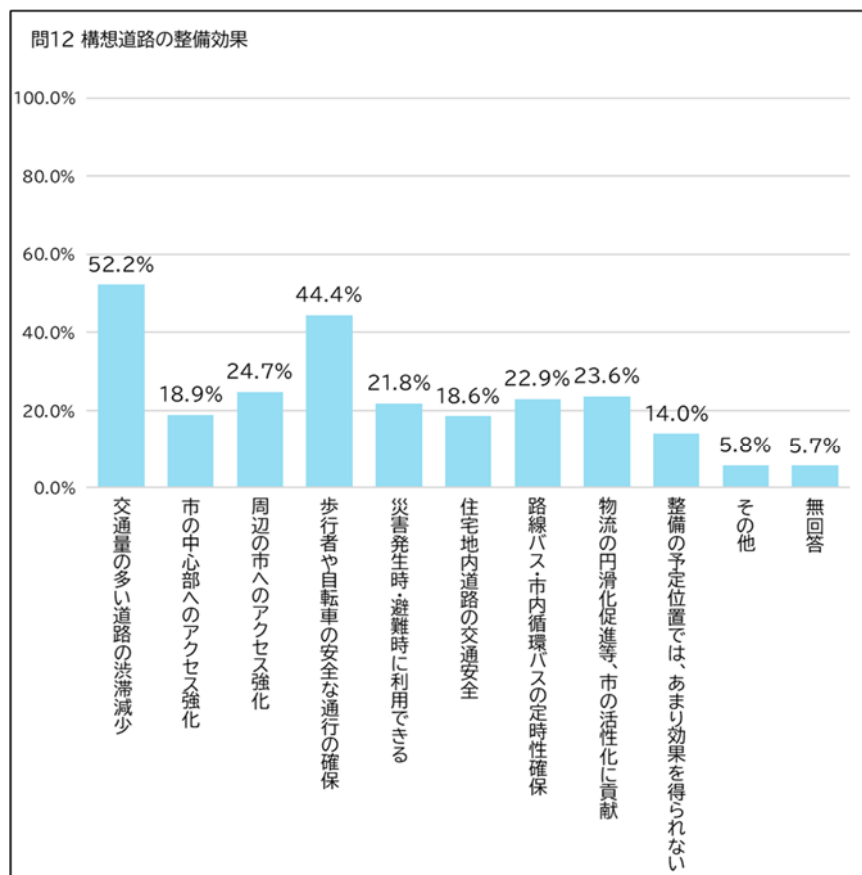
問12 構想道路の整備で得られる整備効果について、次の中から、あてはまるものを選んで、○印をつけてください。(複数回答可)

構想道路の整備効果は、「交通量の多い道路の渋滞減少」(52.2%)が最も多く、次いで「歩行者や自転車の安全な通行の確保」(44.4%)、「周辺の市へのアクセス強化」(24.7%)となっている。

構想道路の整備効果(複数回答)

	選択肢	回答数	割合
1	交通量の多い道路の渋滞減少	376	52.2%
2	市の中心部へのアクセス強化	136	18.9%
3	周辺の市へのアクセス強化	178	24.7%
4	歩行者や自転車の安全な通行の確保	320	44.4%
5	災害発生時・避難時に利用できる	157	21.8%
6	住宅地内道路の交通安全	134	18.6%
7	路線バス・市内循環バスの定時性確保	165	22.9%
8	物流の円滑化促進等、市の活性化に貢献	170	23.6%
9	整備の予定位置では、あまり効果を得られない	101	14.0%
10	その他	42	5.8%
-	無回答	41	5.7%
	合計	1,820	100.0%

※回答者数:720



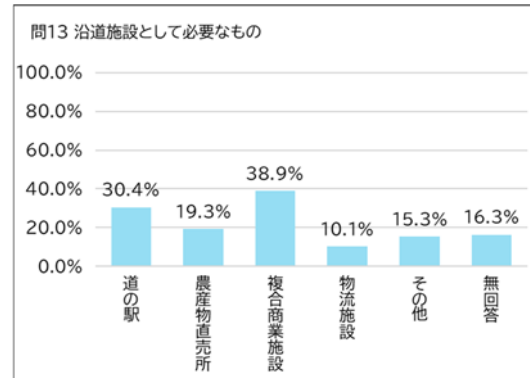
問13 沿道施設として白井市に必要だと思うものについて、次の中から、あてはまるものを選んで○印をつけてください（複数回答可）

構想道路の沿道施設として必要なものは、「複合商業施設」（38.9%）が最も多く、次いで「道の駅」（30.4%）、「農産物直売所」（19.3%）となっている。

沿道施設として必要なもの（複数回答）

	選択肢	回答数	割合
1	道の駅	219	30.4%
2	農産物直売所	139	19.3%
3	複合商業施設	280	38.9%
4	物流施設	73	10.1%
5	その他	110	15.3%
-	無回答	117	16.3%
	合計	938	100.0%

※回答者数:720



「その他」の主な具体的な回答内容：
スーパー・コンビニ・ドラッグストア（8件）、公園（5件）、
病院（4件）、飲食店（4件）等

3 市民アンケート調査票

構想道路に関するアンケート調査へのご協力をお願い

令和2年12月

市民の皆様には、日ごろから、市の都市行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

白井市においては、現在、千葉県が都市計画変更手続きを行っております国道464号北千葉道路をはじめ、都市計画道路の整備が進められていますが、市の都市づくりで抱える課題を解決するためには、効率的な道路整備が必要です。また、人口減少、超高齢化社会の到来など社会・経済状況が変化中、道路整備の重要度・優先度の高い地域を選定し、集中的に整備を行うことも必要です。

このような状況下において、白井市第5次総合計画及び都市マスタープランでは、国道16号木地先から白井工業団地の南側を通り桜台地先までを結ぶ都市幹線道路「(仮称)木・十線」の整備構想(以下、「構想道路」)があります。

構想道路は、総合計画及び都市マスタープランの将来都市構造図において広域幹線軸として位置づけられている国道16号と国道464号を結び、白井工業団地の活性化、沿道の新たな土地利用の誘導及び交通アクセスの改善等の効果が期待されております。

そこで、構想道路に関連するご意見を頂戴する調査を実施することといたしました。調査結果は、今後の都市行政に活用してまいります。

このアンケートは、当該道路の想定ルート周辺にお住まいの18歳以上の方の中から、2000人の方を無作為に抽出し、お願いするものです。回答は無記名のうえ、全て統計的に処理され、回答者の個人的な意見や考えが外部に漏れることは、一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- このアンケートは、宛名の方にご記入をお願いしていますが、もし都合により、ご記入ができない場合は、ご家族のどなたでも結構ですので代わってご記入ください。
その場合は、記入される方の立場でお答えください。
- ご回答は、設問の中においてお願いしてある数だけ、答えの番号に、○印をつけてください。
- この調査票は、ご記入の上、同封しました返信用の封筒に入れ、令和2年12月25日(金)までにご投函ください(切手は不要です)。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

白井市 都市建設部 都市計画課 計画整備係

電話 047-401-4682(直通)

Mail : toshi-keikaku@city.shiroi.chiba.jp

構想道路に関するアンケート調査票

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別は、どちらですか。

次の中からどちらか一方に、○印をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

問2 あなたの年齢は、おいくつですか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○印をつけてください。

1. 10代	3. 30代	5. 50代	7. 70歳以上
2. 20代	4. 40代	6. 60代	

問3 あなたのお住まいは、どこですか。

番地の番号までの記入は必要ありませんので、記入例を参考にお答え下さい。

記入例：白井市十余一

--

問4 あなたの日常生活における主な交通手段を選んで、○印をつけてください。

(複数回答可)

1. 自分が運転する自家用車	6. タクシー
2. 家族が運転する自家用車	7. 自動二輪車、原動機付自転車
3. 鉄道	8. 自転車
4. 路線バス	9. 徒歩
5. 市内循環バス「ナッシー号」	

道路の混雑の状況について

問5 あなたが日常生活で外出し移動している時、白井市内の道路は混雑していると感じることが多いですか。

次の中からあてはまるものを1つ選んで、○印をつけてください。

1. かなり混雑していると感じる	3. あまり混雑していないと感じる
2. 少し混雑していると感じる	4. 混雑していないと感じる

問5で「1. かなり混雑していると感じる」「2. 少し混雑していると感じる」と回答した方のみお答えください。

問6 混雑を感じる道路の交差点や位置を、記入例を参考に、分かる範囲で構いませんので、具体的にお答えください。

記入例その1（交差点の名称が分かる場合）：国道16号の白井交差点

記入例その2（名称は分からないが概ね位置が分かる場合）：白井工業団地周辺の道路

道路の安全の状況について

問7 あなたが住んでいる地域の道路の安全の状況は、どのような感じますか。

次の中から最もあてはまるものを1つ選んで、○印をつけてください。

1. 自動車が多い道路では、歩道が狭く、危険と感じている
2. 住宅地内の狭い道路にも、自動車が多く通行しているため、危険と感じている
3. 道路が狭いものの、自動車が少ないので、あまり危険を感じない
4. 歩道を含め、道路が広い幅で整備されているので、あまり危険を感じない
5. その他（下の欄に具体的な内容をご記入ください）

問7で「1. 自動車が多い道路では、歩道が狭く、危険と感じている」若しくは「2. 住宅地内の狭い道路にも、自動車が多く通行しているため、危険と感じている」と回答した方のみお答えください。

問8 危険を感じる道路やその位置を、記入例を参考に、分かる範囲で構いませんので、具体的にお答えください。

記入例その1（道路の名称が分かる場合）：鮮魚街道

記入例その2（名称は分からないが概ね位置が分かる場合）：白井中学校前の道路

道路利用に対する満足状況について

問9 あなたが道路利用する際の満足状況を回答してください。

各項目について、満足状況を1つ選んでください。

項目	分からない	満足状況			
		低い	←	→	高い
①バス利用時の所要時間	0	1	2	3	4
②歩道を歩く際の快適さやゆとりの状況	0	1	2	3	4
③自転車利用時の快適さ	0	1	2	3	4
④自宅周辺の公共施設※までの所要時間	0	1	2	3	4
⑤白井駅・西白井駅までの所要時間	0	1	2	3	4
⑥他都市への移動のしやすさ	0	1	2	3	4

※自宅周辺の公共施設：公民館、福祉センター、コミュニティセンターをさします。

【満足状況の分類】

0. 分からない 1. 非常に不満 2. やや不満 3. やや満足 4. 非常に満足

構想道路について（なお、構想道路の整備予定位置は、5頁をご覧ください）

問10 構想道路は必要だと思いますか。

次の中からあてはまるものを1つ選んで、○印をつけてください。

1. 必要である
2. どちらかといえば必要である
3. どちらかといえば必要ない
4. 必要ない
5. 分からない

問11 問10で回答した理由を具体的にお答えください。

記入例その1（必要である場合）白井市の発展のため。混雑緩和のため。

記入例その2（必要でない場合）：別の事業に予算を充てるべきと考えるため。

問12 構想道路の整備で得られる整備効果について、次の中から、あてはまるものを選んで、○印をつけてください。（複数回答可）

1. 市内の自動車の多い道路での渋滞の発生を減らすこと
2. 白井駅・西白井駅の位置する市の中心部へのアクセスを強化すること
3. 白井市から周辺の市へのアクセスを強化すること
4. 歩行者や自転車が安全に通行できるようになること
5. 災害発生時において、避難時に利用できるようになること
6. 住宅地内の道路での交通の安全を向上すること
7. 路線バス・市内循環バスの定時性を確保すること
8. 物流の円滑化の促進等、市の活性化に貢献すること
9. 今の整備の予定位置では、あまり効果を得られない
10. その他（下の括弧内に具体的な内容をご記入ください）

(

)

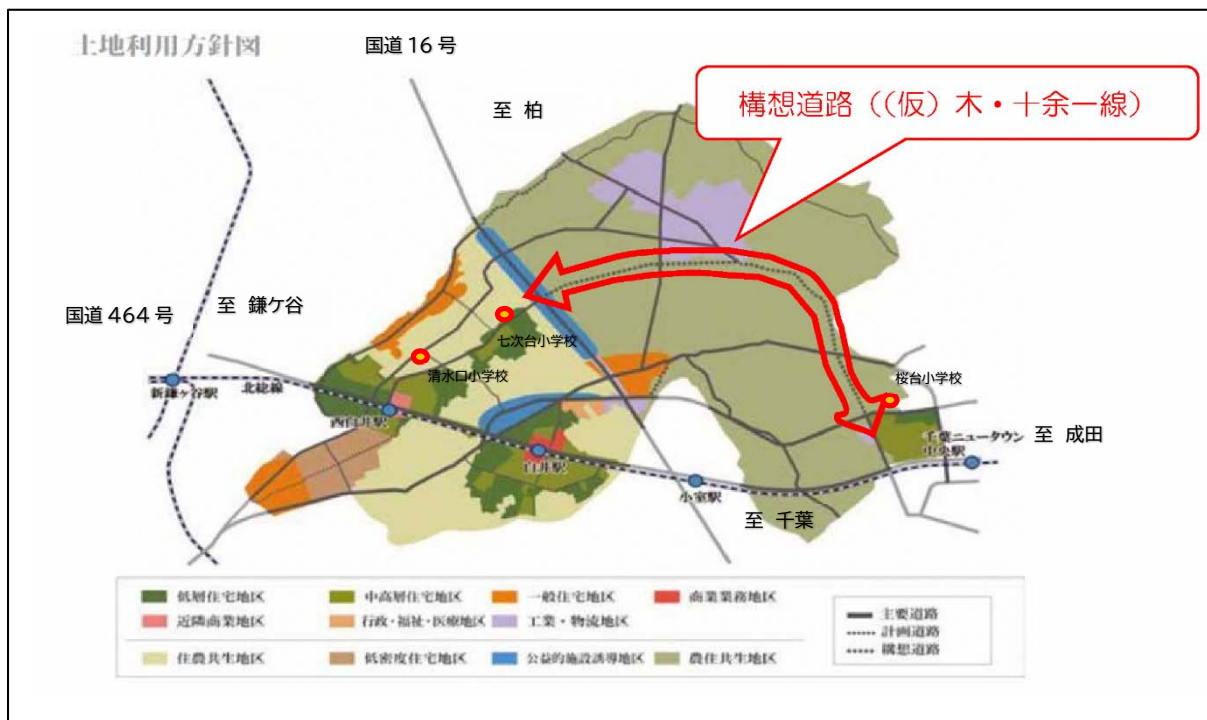
問13 沿道施設として白井市に必要なと思うものについて、次の中から、あてはまるものを選んで○印をつけてください（複数回答可）

1. 道の駅
2. 農産物直売所
3. 複合商業施設
4. 物流施設
5. その他（下の括弧内に具体的な内容をご記入ください）

(

)

【構想道路「（仮称）木・十倉一線」の整備予定位置】



問 1 4 白井市の道路整備や都市計画・まちづくりに関することで、ご意見がございましたら、どんなことでも結構ですので、自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、どうもありがとうございました。
記入漏れがないかどうか、もう一度お確かめいただき、同封の返信用封筒に入れ、ポストにご投函ください。